

令和8年度 「精選国語」 シラバス

教科	国語	科目	精選国語	単位数	3
学級	A～S	教材・副教材	論理国語（大修館書店） 文学国語（数研出版） 新訂 国語図説〔六訂版〕（京都書房） 未来をひらく常用漢字漢字検定5級～2級（桐原書店） 読み解くための現代文単語（文栄堂）【B組のみ】		

1 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、評論や小説の読解を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

2 学習計画

学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	知識・技能 思考力・判断力・表現力	自己と他者	人はなぜ贈与するのか	・対比の意図や具体例とまとめの関係を的確にとらえる。 ・「贈与」という行為の意義を読み取り、人間社会について考えを深める。	授業態度 提出物 授業内発表 小テスト 定期考査
	5	思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度	平成の小説	ひよこの眼 中間考査	・「私」は幹生の「目」をどのようにとらえていたか、その変化をまとめる。 ・「私」はどのような人物だと考えられるか、本文の出来事を踏まえてまとめる。	
	6 7	知識・技能 思考力・判断力・表現力	メディアの変容	ポスト真実時代のジャーナリズムの役割 期末考査	・筆者の現状認識と問題意識を正確にとらえる。 ・メディアの現状と課題、マスメディアの役割について考える。	
学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度	明治の小説	舞姫	・豊太郎の置かれている状況を四つに分け、それぞれの時期で豊太郎が望んでいた生き方をまとめる。 ・豊太郎の「弱くふびんなる心」は、彼のどのような生き方に表れているかを考える。 ・エリスの豊太郎に対する心情変化をまとめる。	授業態度 提出物 授業内発表 小テスト 定期考査
	10			中間考査		
	11					
	12			期末考査		

学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力	政治と社会	多数決を疑う 学年末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が指摘する問題点や代替案を読み取り、主張を理解する。 ・意思決定のしくみに興味をもち、社会制度のあり方を考える。 	授業態度 提出物 授業内発表 小テスト 定期考査

令和8年度 「古典研究」シラバス

教科	国語	科目	古典研究	単位数	2
学級	3年次	教材・副教材	古典探求（文英堂） 新訂国語図説（啓隆社）		

1 科目の目標

言葉による見方や考え方を、言語活動を通して国語で的確に理解し表現する資質・能力を目指す。
そして日常生活において有意義な言語活動ができるようにさせる。

2 学習計画

学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度	古典に関する理解を深める。	上代の文学を研究する。 漢文では思想家の作品を研究する。	万葉集や古事記などの代表的な作品を研究する。 漢文では孟子の代表作を研究する。	・授業態度 ・小テスト ・グループ活動 ・提出物
	5					
	6	知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度	人の生き方を読み取る。	中古の文学（その1）を研究する。	源氏物語の有名な章段を研究する。 漢文では荘子の代表作を研究する。	・授業態度 ・小テスト ・グループ活動 ・提出物
	7					
学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度	先人の世界を理解する。	中古の文学（その2）を研究する。 漢文では李白と杜甫の詩を研究する。	枕草子の有名な章段を研究する。 漢文では李白と杜甫の有名な詩句を研究する。	・授業態度 ・小テスト ・グループ活動 ・提出物
	10					
	11	知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度	見方や考え方を広げる。	中世の文学を研究する。 漢文では韓非子の作品を研究する。	徒然草の有名な章段を研究する。 漢文では韓非子の代表作を研究する。	・授業態度 ・小テスト ・グループ活動 ・提出物
	12					
学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度	文化について考える。	近世の文学である俳諧について研究する。 漢文では論語の有名な章句を研究する	去来抄の有名な章段を研究する。	・授業態度 ・小テスト ・グループ活動 ・提出物

令和8年度 「古典探究」シラバス

教科	国語	科目	古典探究	単位数	2
学級	普通科3年B組文系、 D組～H組	教材 副教材	『古典探究(文英堂)』、『新訂国語図説 六訂版(啓隆社)』、 『完全マスター古典文法(第一学習社)』、『<B組のみ> みるみる覚える古文単語300(いいずな書店)』		

1 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、古典を通し、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

2 学習計画

学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に 取り組む態度	『大和物語』 姥捨	中間考查	<ul style="list-style-type: none"> 内容について理解する。 基礎的な文法事項を習得する。 作品の内容について自らの言葉で表現する。 わが国特有の文化について主体的に追究しようとしている。 	定期考查 小テスト 課題レポート 提出物 授業態度
	5					
	6	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に 取り組む態度	『大鏡』 南院の鏡射	期末考查	<ul style="list-style-type: none"> 内容について理解する。 登場人物の言動や心情を読み取る。 作品をもとに自分の意見を表現する。 わが国特有の文化について主体的に追究しようとしている。 	定期考查 小テスト 課題レポート 提出物 授業態度
	7					
学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に 取り組む態度	『和泉式部日記』 薫る香に	中間考查	<ul style="list-style-type: none"> 表現の特徴を理解する。 作者の心情を理解し、その表現の特徴を評価する。 他者の発表に学び、表現力を高める。 わが国特有の文化について、主体的に追究しようとしている。 	定期考查 小テスト 課題レポート 提出物 授業態度
	10					
	11	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に 取り組む態度	『史記』 四面楚歌	期末考查	<ul style="list-style-type: none"> 内容について理解する。 史記の舞台となった背景や経緯を理解する。 人物の行動をもとに人間の生き方について理解を深める。 わが国特有の文化について、主体的に追究しようとしている。 	定期考查 小テスト 課題レポート 提出物 授業態度
	12					
学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に 取り組む態度	『更級日記』 あづま路の道の 果て	学年末考查	<ul style="list-style-type: none"> 内容と作者について理解する。 作者の心情を読み取る。 現代と関連付けることで、読みを深める。 わが国特有の文化について、主体的に追究しようとしている。 	定期考查 課題レポート 提出物 授業態度

令和 8 年度 「世界史基礎」 シラバス

教科	地歴公民科	科目	世界史基礎	単位数	2 単位
学級	3 年次選択者	教材・副教材	世界史探究（山川出版）、タペストリー（帝国書院）		

1 科目の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第 1 学期	4 5	諸地域の交流・再編	・大交易・大交流の時代 ・アジアの諸帝国の繁栄	<p>【知・技】 ヨーロッパの海洋進出について、その動機や背景、経緯を理解している。 オスマン帝国とサファヴィー朝がどのように支配を確立し、統治をおこなっていたのかを理解している。</p> <p>【思・判・表】 ヨーロッパ人による航海と探検を示す地図やラス＝カサス『インディアスの破壊についての簡潔な報告』などの資料をもとに、ヨーロッパの海洋進出が諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 オスマン帝国とサファヴィー朝を比較したうえで、それぞれの特徴や両者の関係を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主】 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 オスマン帝国とサファヴィー朝について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見い出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出
	6 7	諸地域の交流・再編、結合・変容	・近世ヨーロッパ世界の動向 ・産業革命と環大西洋革命	<p>【知・技】 ルネサンスの特徴や広がり、それが後世に与えた影響を理解している。 新しい宗派の成立過程やその後のヨーロッパの宗教分布を理解している。 産業革命が 18 世紀後半のイギリスから始まった背景や技術革新の展開を理解している。 フランス革命が起こった要因やナポレオンが台頭した背景を理解している。</p> <p>【思・判・表】 美術作品の図像などの資料をもとに、ルネサンスの新しさと古さを多面的・多角的に考察し表現している。 「九十五カ条の論題」や『キリスト者の自由』などの資料をもとに、宗教改革の動きが広まった要因を多面的・多角的に考察し表現している。 当時の工場の様子を描いた図像資料や都市の人口を示す統計をもとに、産業革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 「旧体制」の風刺画などの図像資料や人権宣言などの資料をもとに、フランス革命において「国民」を主役とする社会が創出されたことについて、多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主】 ルネサンスについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 宗教改革について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 イギリス産業革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 フランス革命とナポレオンについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等

第2学期	9 10	諸地域の結合・ 変容	・イギリスの優位と欧米 国民国家の形成 ・アジア諸地域の動揺	<p>【知・技】 19世紀前半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、ウィーン体制や1848年革命、さまざまな主義主張の特徴とあわせて理解している。 オスマン帝国・イラン・アフガニスタンにおける動揺や改革の推移を、ヨーロッパ列強との関係ともあわせて理解している。</p> <p>【思・判・表】 ウィーン会議後のヨーロッパを示す地図や会議を風刺した図像資料などをもとに、ウィーン会議がヨーロッパ各地の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 マムルークの掃討を表した図像資料やオスマン帝国憲法などの資料をもとに、この時期のアジア各地での変化や改革について多面的・多角的に考察し表現している。多面的・多角的に考察し、改めてフランス革命と発展について定義している。</p> <p>【主】 ウィーン体制について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 アメリカ合衆国の発展について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 西アジアの変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出
	11 12	諸地域の結合・ 変容	・帝国主義とアジアの民族運動 ・第一次世界大戦と世界の変容	<p>【知・技】 列強による世界分割がどのように進められたかや列強体制の変化について理解している。 アジア各地における改革や民族運動がどのように展開し、いかなる結果をもたらしたのかを理解している。 第一次世界大戦とロシア革命がどのように展開したのかを、戦時外交や総力戦の特徴、大戦をもたらした結果などともあわせて理解している。 第一次世界大戦がアジア・アフリカの各地に与えた影響を理解する。</p> <p>【思・判・表】 国際情勢を風刺した図像資料や「白人の責務」などの資料をもとに、欧米列強が植民地や勢力圏の拡大を争った背景を多面的・多角的に考察し表現している。 列強の植民地・勢力圏を示した地図や帝国主義を風刺した図像資料をもとに、列強による世界分割が各地に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 塹壕戦やさまざまな新兵器、軍需工場働く女性の図などの第一次世界大戦に関する図像資料および「平和に関する布告」などの資料をもとに、第一次世界大戦とロシア革命が世界にもたらした変容を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主】 列強の世界分割について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 第一次世界大戦とロシア革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	諸地域の結合・ 変容	・第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	<p>【知・技】 世界恐慌が国際関係に与えた影響や各国の対応策、およびヴェルサイユ体制の崩壊にいたる経緯やファシズム諸国・日本の動きについて理解する。 第二次世界大戦の対立の構図と勃発から終戦までの経緯を理解する。</p> <p>【思・判・表】 政治的なポスターなどの図像資料や経済的な変化を示す統計資料をもとに世界恐慌下の各国における変容を、またナチ党の全国党大会の図像資料や・介石「盧溝橋事件に関する盧山談話」の文字資料などをもとにファシズム諸国や日本の動きについて、多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主】 世界恐慌やヴェルサイユ体制の崩壊について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出

				第二次世界大戦について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	
--	--	--	--	---	--

令和 8 年度 「 世界史探究 」 シラバス

教科	地歴公民科	科目	世界史探究	単位数	4 単位
学級	3 年次選択者	教材・副教材	世界史探究（山川出版）、タペストリー（帝国書院）		

1 科目の目標

<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p>

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第 1 学期	4 5	諸地域の歴史的 特質の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・文明の成立と古代文明の特質 ・中央ユーラシアと東アジア世界 ・南アジア世界と東南アジア世界の展開 ・西アジアと地中海周辺の国家形成 	<p>【知・技】 世界各地で多様な支配観念（王権）が形成されたことを理解している。 古代オリエント文明とその周辺でおこなわれた神権政治の多様性を理解している。 中国の古代文明における神権政治の多様な展開とその現代的影響を理解している。 南アジアの人々が解脱などの内面的な信仰だけでなく、政治的文化的な働きを求めていたことを理解している。 ギリシア民主政と現代の政治制度との違いを理解している。</p> <p>【思・判・表】 貧富の差の拡大や仕事の分業化などの社会的関係を多面的・多角的に考察し、支配観念の形成について表現している。 中国の古代文明における神権政治について、その推移や多様な展開の比較、現代的影響に着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 南アジアの王や宗教家、一般の人々が仏教に求めた働きを比較して、宗教に求められた働きについて多面的・多角的に考察し、表現している。 元首政、専制君主政、東西分割と柔軟に対応したことや、共和政の伝統を尊重・維持してきたこと、帝国の強大さの表象など長期に繁栄した要因を理解している。</p> <p>【主】 神権政治にもとづく専制的な政治が、人々の生活を安定させ豊かにするものであったのか話し合い、より良い社会形成のための政治のあり方を主体的に追究しようとしている。 諸地域世界の学習を振り返り、生業、身分、階級、王権、宗教、文化・思想などの学習の視点や方法について確認し、他の諸地域世界について、学習の視点や方法などのつながりを見出している。 仏教やヒンドゥー教が、人々の生活を安定させ豊かにするものであったのか話し合い、より良い社会形成のための宗教のあり方を主体的に追究しようとしている。 あらたにイスラーム世界に組み込まれた地域の社会の変化が、人々の生活にどのような変化をもたらしたのか、また人々の生活を安定させ豊かにするものであったか話し合い、より良い社会形成のための政治のあり方を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出</p>
	6 7	諸地域の交流・ 再編	<ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 ・イスラーム教の伝播と西アジアの動向 ・ヨーロッパ世界の変容と展開 	<p>【知・技】 イスラーム教が西アジア、北アフリカへの領域拡大と並行して伝播した経緯と、各地域の政治、文化の変容について理解している。 教皇権の伸長、西ヨーロッパの拡大運動と商業の発達、中世都市の誕生など、西ヨーロッパ中世の枠組みや体制が形成されたことを理解している。 中世西ヨーロッパの特徴である、封建制、王権の弱体状況を理解するとともに、それらが崩れて近代国家形成へ向かう状況を理解している。</p> <p>【思・判・表】 イスラーム教が西アジア・北アフリカを変容させていく状況を多面的・多角的に考察し、再定義している。 キリスト教を軸とするヨーロッパ世界の特徴を多面的・多角的に考察し、改めて定義している。 西ヨーロッパの封建社会の中で展開した、教会制度・拡大運動・商業の発達の状況を、具体的に考察し定義している。 中世西ヨーロッパの文化のあり方を、ビザンツ帝国やイスラーム圏との関連を多面的・多角的に考察し、定義している。</p> <p>【主】</p>	<p>定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出</p>

				<p>イスラーム世界の拡大が、伝播した地域にどのような影響を与えたか、また、人々の生活に安定や豊かさをもたらすものであったのか話し合い、イスラーム教の拡大の持つ意味を主体的に追究しようとしている。</p> <p>中世ヨーロッパ世界が、地域ごとにどのような特徴を持つのか、また、人々の生活に安定や豊かさをもたらすものであったのか話し合い、中世ヨーロッパ世界の特徴や意義を主体的に追究しようとしている。</p>	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9 10	諸地域の交流・再編、結合・変容	<ul style="list-style-type: none"> ・東アジア世界の展開とモンゴル帝国 ・大交易・大交流の時代 ・アジアの諸帝国の繁栄 ・近世ヨーロッパ世界の動向 ・産業革命と環大西洋革命 	<p>【知・技】 唐から宋にかけて、支配者層が入れ替わり、周辺所民族の侵入が中国社会に与えた影響を多面的に理解している。 ポルトガルやスペインの海外進出の本格化が、「世界の一体化」の端緒となり、のちの本格的な世界の結びつきへとつながってゆくことを理解している。 ルネサンス運動の多様性と、後のヨーロッパ社会や現代に与えた影響を理解している。 主権国家体制の成立の意義と三十年戦争の与えた影響を理解している。 フランス革命とナポレオンの支配の特色や多様性について理解している。</p> <p>【思・判・表】 唐から宋にかけての支配者層の入れ替わりや、周辺所民族との関りが中国社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し、定義している。 ヨーロッパがしきりに海外進出を進めた16世紀の東南アジア、東アジアの社会の特色や多様性を理解している。 ルネサンス運動を多面的・多角的に考察し、改めてルネサンス運動を定義している。 ヨーロッパ各地でおこなわれた宗教改革とカトリック改革や宗教対立がヨーロッパ社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し、宗教改革を定義している。 フランス革命とナポレオンの支配について多面的・多角的に考察し、改めてフランス革命と発展について定義している。</p> <p>【主】 モンゴル帝国の拡大が交易に与えた影響や、人々の生活に安定や豊かさをもたらすものであったのか話し合い、モンゴル帝国の領域の拡大の持つ意味を主体的に追究しようとしている。 主権国家体制の形成と地球規模の交易が、いかに人々の生活を豊かにし安定させるものであったのかを話し合い、現代の社会において、よりよい社会や国際関係のあり方を主体的に探究している。</p>	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出
	11 12	諸地域の結合・変容	<ul style="list-style-type: none"> ・イギリスの優位と欧米国民国家の形成 ・アジア諸地域の動揺 ・帝国主義とアジアの民族運動 	<p>【知・技】 ウィーン体制のもとで構築されたヨーロッパの国際秩序の特質と、その崩壊の過程を理解している。 領土の拡大にともなう、奴隷制をめぐる南北の対立を背景に勃発した南北戦争の経過と、19世紀後半のアメリカ合衆国の発展について理解している。 オスマン帝国の弱体化と東方問題、列強の経済的支配と帝国が取り組んだ近代化をめざす諸改革、ロシアとイギリスの勢力争いに巻き込まれたイラン、アフガニスタンの状況を理解している。</p> <p>【思・判・表】 ウィーン体制の形成とその特質、ウィーン体制が19世紀のヨーロッパに及ぼした影響を多面的・多角的に考察し、その歴史的意義を表現している。 クリミア戦争後のヨーロッパ各国の情勢や、ビスマルクが再構築した列強体制、国際運動やヨーロッパの拡大について多角的・多面的に考察し、ヨーロッパの国際情勢の変化について表現している。 ヨーロッパ諸国の進出と反乱のなかで近代化にとりくんだ清、近代化とともに海外進出を進めた日本、日中両国が勢力を争った朝鮮について、多角的・多面的に考察し、表現している。</p> <p>【主】 欧米諸国が形成した国民国家は、欧米諸国の人々の暮らしを安定させ、豊かな社会を築いたかを話し合い、よりよい社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。 19世紀のヨーロッパ諸国の干渉や植民地政策がアジアの諸地域に及ぼした影響と、アジア諸地域の対応について話し合い、これからの世界がよりよい社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。</p>	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	地球世界の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦と世界の変容 ・第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 ・冷戦と第三世界の台頭 ・冷戦の終結と今日の世界 	<p>【知・技】 第一次世界大戦が起こった背景とその結果、ロシアで社会主義政権が成立した過程とその影響を理解している。 植民地支配を維持しようとする列強の進出に抵抗する、第一次世界大戦後のアジア・アフリカ諸地域の民族運動を理解している。 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊などをもとに、国際関係の緊張と対立を構造的に理解している。 第二次世界大戦後の国際秩序、冷戦とアジア諸国の独立の始まりなど諸地域の変容を構造的に理解している。</p> <p>【思・判・表】 19世紀末から20世紀初めの国際関係と、それを背景として起こった第一次世界大戦とロシア革命を多角的・多面的に考察し、表現している。 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊について多面的・多角的に考察し、国際関係の緊張と対立を構造的に理解し、改めて世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊を定義している。 第二次世界大戦について多面的・多角的に考察し、改めて第二次世界大戦を定義している。</p> <p>【主】 第一次世界大戦とロシア革命による世界最初の社会主義国の成立は、人々の生活にどのような影響を及ぼしたのかを話し合い、これからの世界がより良い社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。</p>	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出

令和8年度 地理歴史科 日本史基礎

1 科目について

単位数	2単位	学科・学年	3年次選択者
教科書	詳説 日本史(山川出版社)	副教材等	最新 日本史図表(第一学習社)

2 科目の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

3 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	第11章 近世から近代へ 1. 開国と幕末の動乱 2. 幕府の滅亡と新政府の発足	<p>【知・技】欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から定説に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。 政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について理解している。</p> <p>【思・判・表】日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】日本の開国にかかわる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追求しようとしている。 幕末の政治動乱の過程を多角的に考察することを通じて、近代の学習へのつながりを主体的に見出そうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーテスト ・グループワーク ・発表 ・製作物
5 7	第12章 近代国家の成立 1. 明治維新と富国強兵 2. 立憲国家の成立 第13章 近代国家の展開 1. 日清・日露戦争と国際関係 2. 第一次世界大戦と日本 3. ワシントン体制	<p>【知・技】明治政府による中央集権化の諸政策と士族の反乱の終焉、諸外国との対外関係について理解している。 自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。 条約改正の完成、東アジアへの勢力拡張などについて読み取り、この時期の戦争の背景や、日本の国際的地位の変化を理解している。 ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経緯や民族運動の高揚に着目し、国大での社会運動がおこった背景と政党政治の成立について理解している。</p> <p>【思・判・表】諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。 国内体制を欧米の水準に合わせる事が改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。 議会が戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて考察し、根拠を明らかにして表現している。</p> <p>【主】明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追求しようとしている。 自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追求しようとしている。対外的な戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーテスト ・グループワーク ・発表 ・製作物
9 12	第14章 近代の産業と生活 1. 近代産業の発展 2. 近代文化の発達 3. 市民生活の変容と大衆文化 第15章 教皇と第二次世界大戦 1. 恐慌の時代 2. 軍部の台頭 3. 第二次世界	<p>【知・技】産業の発達の背景に影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。 国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、日本で連続した恐慌と政府の対応などに関わる諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。 政治・経済体制の変化に着目して、満州事変に際しての世論や軍部の直接行動に関連する諸資料から情報を読み取り、軍部の台頭と対外政策について理解している。 戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。</p> <p>【思・判・表】地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。 ワシントン体制下の協調外交が、中国における民族運動の進展や日本の経済の動向によって次第に緊張が高まったことについて考察し、根拠を明確にして表現している。 当時の社会が抱えた矛盾と満州事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 戦争がアメリカやイギリスなどの戦争に拡大した理由や、日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーテスト ・グループワーク ・発表 ・製作物

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
		<p>【主】産業の発展とそれによる社会問題への対応について課題を見出し、自ら主体的に追求しようとしている。</p> <p>当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追求しようとしている。</p> <p>満州事変や国内の国家改造運動の展開を考察することを通じて、軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に追求しようとしている。</p> <p>日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追求しようとしている。</p>	
I	第16章 占領下の日本 1. 占領と改革 2. 冷戦の開始と講話	<p>【知・技】第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。</p> <p>占領政策の転換による日本の政治や経済の変化に関わる諸資料から情報を読み取り、サンフランシスコ平和条約の調印による日本の主権回復の意義について理解している。</p> <p>【思・判・表】戦後の諸改革が連合国の対日占領政策に基づくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。地域社会の変容にも留意しながら、占領の前後の社会や思想・文化などを比較・考察し、その結果について根拠を明確にして表現している。</p> <p>【主】現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果を課題について、主体的に追求しようとしている</p> <p>連合国による日本占領機構の特色やその目的を考察することを通じて、戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのか、主体的に課題を追求しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーテスト ・グループワーク ・発表 ・製作物
	テーマ史① 「食と日本人」	<p>【知・技】食生活の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、時代の背景や生活の様子などを理解している。</p> <p>【思・判・表】時代ごとの民衆の生活における諸課題を踏まえ、食生活の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】日本の食生活にかかわる諸事象を当時の社会情勢を踏まえて考察し、食生活の変化について主体的に追求しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーテスト ・グループワーク ・発表 ・製作物

単位数	4	学科・学年・学級	地歴公民科・3年・A～S
教科書	詳説 日本史	副教材	

1 科目の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	A-(1)、(2) 原始・古代の日本と東アジア	黎明期の日本列島と歴史的環境	旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を探究する。	ペーパーテスト パフォーマンス評価 振り返りシート
	5 ～ 7	A-(3) 古代の国家・社会の展開と画期	古墳時代から平安時代後期まで	国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、原始から古代の政治・社会や文化の特色を考察する。中国大陸・朝鮮半島との関係、隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、世界のなかの日本の歴史をとらえる。	ペーパーテスト パフォーマンス評価 振り返りシート
第2学期	9 ～ 10	B 中世の日本と世界	鎌倉時代から室町時代	貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解する。 権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目して探究する。	ペーパーテスト パフォーマンス評価 振り返りシート
	10 ～ 12	C 近世の日本と世界	織豊～江戸末期	織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などから、中世から近世への時代の転換を考察する。 幕藩体制の確立、地方の社会・産業の変容、大衆文化の普及などを探究する。	ペーパーテスト パフォーマンス評価 振り返りシート
第3学期	1 ～ 2	D 近現代の地域・日本と世界		明治維新、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争、第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などを基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を考察する。 恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を探究する。	ペーパーテスト パフォーマンス評価 振り返りシート

令和 8 年度 公民科 「政治経済」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・スポーツ科学科 3年 ABDEFGHIS・選択者
教科書	高等学校 政治・経済(第一学習社)	副教材	政治経済 2026(とうほう)

1 科目の目標

社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4 5	現代日本の政治経済	日本国憲法と現代政治のあり方	【知・技】政治・法・人権について理解している 【思・判・表】法の意義・人権の保障・民主政治のあり方について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】「日本国憲法と現代政治のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題
	6 7	現代日本の政治経済	法の支配と立憲主義	【知・技】政治・法・人権について理解している 【思・判・表】法の意義・人権の保障・民主政治のあり方について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】「日本国憲法と現代政治のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題
第2学期	9 10	現代日本の政治経済	望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方	【知・技】地方自治と政党の役割について理解している。 【思・判・表】住民の権利・選挙の課題・主権者としての政治参加のあり方について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】「望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題
	11 12	現代日本の諸課題の探究	持続可能な財政および租税のあり方	【知・技】財政・租税について理解している。 【思・判・表】経済活動について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】「持続可能な財政および租税のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題
第3学期	1	現代の国際政治・社会国際 社会の諸課題の探究	相互依存関係が深まる国際経済の特質 国際経済において求められる日本の役割	【知・技】国際分業・国際収支統計・為替相場について理解している。 【思・判・表】日本の対外経済取引・地域的経済統合について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】「相互依存関係が深まる国際経済の特質」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題

令和 8 年度 「数学Ⅲ」シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅲ	単位数	4
学級	第3学年B・C組理系	教材・副教材	新編 数学Ⅲ（数研出版） 3 TRIAL 数学Ⅲ（数研出版）		

1 科目の目標

関数、極限、微分法、積分法について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、具体的な事象を数学的に考察し処理するための能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第1章 関数	1 分数関数 2 無理関数 3 逆関数と合成関数	分数関数や無理関数の特徴を理解している。合成関数や逆関数の意味を理解する。 分数関数や無理関数の性質を理解し、それを方程式や不等式の考察に活用する。また、関数の一般的な性質として逆関数や合成関数などについて理解し、事象の考察に活用する。 関数のグラフと直線について、共有点の座標の意味を考え、その求め方を考察する。	・定期考査 ・小テスト ・提出物 ・授業内発表など
	5	第2章 極限	第1節 数列の極限 1 数列の極限 2 無限等比数列 3 無限級数 第2節 関数の極限 4 関数の極限(1) 5 関数の極限(2) 6 三角関数と極限 7 関数の連続性	簡単な数列の収束、発散を調べ、極限の求め方を学ぶ。簡単な関数の極限の求め方を学ぶ。 数列の極限の概念を理解し、様々な数列の極限の求め方を学ぶ。無限級数については、その極限と各項の極限との関係を理解し、正しく考察する。 不定形の関数の式を、不定形を解消するように工夫して変形の仕方を学ぶ。	
	6 7	第3章 微分法	第1節 導関数 1 微分係数と導関数 2 導関数の計算 第2節 いろいろな関数の導関数 3 いろいろな関数の導関数 4 第n次導関数 5 曲線の方程式と導関数	導関数の性質、積の導関数、商の導関数、合成関数の導関数、逆関数の微分法を理解し、種々の導関数の計算方法を学ぶ。 微分係数や導関数の定義を理解し、導関数についての様々な性質や公式を導き、それらを導関数の計算に活用する。 様々な導関数の性質や計算方法に興味をもち、具体的な問題に取り組む。	・定期考査 ・小テスト ・提出物 ・授業内発表など
第2学期	9 10	第4章 微分法の応用	第1節 導関数の応用 1 接線の方程式 2 平均値の定理 3 関数の値の変化 4 関数のグラフ 第2節 いろいろな応用 3 方程式・不等式への応用 4 速度と加速度 5 近似値	導関数を、接線、関数の増減、グラフなどに活用する 第2次導関数の符号と導関数の増減の関係を理解する。 関数のグラフの様々な概形の書き方を学び、活用する。	・定期考査 ・小テスト ・提出物 ・授業内発表など
	11 12	第5章 積分法の応用	第1節 不定積分 1 不定積分とその基本性質 2 置換積分法と部分積分法	様々な関数の不定積分やその計算法則を、導関数をもとにして考え、それをもとに不定積分の求め方を学ぶ。 不定積分の公式が適用できるように式変形の仕方を学ぶ。	・定期考査 ・小テスト ・提出物 ・授業内発表など

			<p>3 いろいろな関数の不定積分</p> <p>第2節 定積分</p> <p>4 定積分とその基本性質</p> <p>5 置換積分法と部分積分法</p> <p>6 定積分のいろいろな問題</p>	<p>様々な関数の定積分を求る。 定積分の公式が適用できるように式変形の仕方を学ぶ。</p>	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第5章 積分法の応用	<p>第3節 積分法の応用</p> <p>7 面積</p> <p>8 体積</p> <p>9 道のり</p> <p>10 曲線の長さ</p>	<p>定積分を面積や体積として捉え、様々な事象の考察に活用し、道のりや曲線の長さを求める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・提出物 ・授業内発表など

令和8年度 数学科 「 数学B 」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・3年次・選択
教科書	新編数学B (数研出版)	副教材	3 TRIAL 数学B (数研出版)

1 科目の目標

数列, 統計的な推測について理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 具体的な事象を数学的に考察し処理するための能力を育てるとともに, 数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。

2 学習計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 5 6 7 9 10	第1章 数列	【知・技】数列の基礎的な概念と知識を理解している。等差数列、等比数列など、簡単な数列について一般項や第n項までの和について理解し、それらを用いて事象を数学的に考察し処理できる。 【思・判・表】記号 Σ , 階差数列やいろいろな数列, 漸化式, 数学的帰納法について理解し、それらを用いて事象を数学的に考察し処理できる 【主】数の並び方に興味をもち, その規則性を発見しようとする意欲がある。数列の和を工夫して求める方法に興味をもち, 数列の和の公式を導こうとする意欲がある。	・定期考査 ・小テスト ・提出物 ・授業内発表など
11 12 1	第2章 統計的な推測	【知・技】確率変数の期待値, 分散, 標準偏差を求めることができる。反復試行の結果を, 二項分布を用いて表すことができる。標準正規分布表を用いて, 正規分布に関する確率の計算ができる。 【思・判・表】確率変数の期待値, 分散, 標準偏差などを用いて確率分布の特徴を考察することができる。具体的な事象を二項分布として捉え, 考察することができる。正規分布を活用して現実のデータについて考察することができる。 【主】確率変数の期待値, 分散に関する種々の公式を, その定義や既知の公式を用いて導こうとする。二項分布に従う確率変数の期待値, 分散, 標準偏差の公式について, 確率分布の定義から導こうとする。現実のデータが正規分布に近い分布になることがあることに興味をもち, 様々なデータについて考察しようとする。	・定期考査 ・小テスト ・提出物 ・授業内発表など

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス, 授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・授業中はその内容を理解することに集中してください。もしもわからないことが出てきた場合には, そのままにせず, すぐに自分で教科書を読んだり, 人に聞いたりすることで解決してください。1つわからないことがあると, それが原因で多くの内容がわからなくなってしまいます。
- ・授業だけでは問題を解く時間を十分にとれないことがあります。そのため, 家庭での予習と復習によって問題を解く時間を十分にとってください。
- ・授業開始時には, 教科書・プリントファイル・問題集を準備し着席完了しておいてください。
- ・欠席した場合は, その分のノートを級友から借りるなどして次の時間までに学習しておいてください。
- ・授業で学習した内容について副教材(問題集)を積極的に利用し, 演習を重ねておくことが大切です。
- ・提出物等の期限は厳守でお願いします。内容もしっかり行ってください。

令和8年度 「数学C」 シラバス

教科	数学	科目	数学C	単位数	2
学級	3年次 総合進学理系 3年次 一般理系 3年次 自由選択者	教材・副教材	新編 数学C【数研出版】 3TRIAL 数学C【数研出版】		

1 科目の目標

ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面について理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 数学的な表現の工夫について認識を深め, 事象を数学的に考察する能力を培い, 数学のよさを認識できるようにするとともに, それらを活用する態度を育てる。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4 5	第1章 平面上のベクトル	第1節 ベクトルとその演算 中間試験	平面上のベクトルの意味, 相等, 和, 差, 実数倍, 位置ベクトル, ベクトルの成分表示について理解するとともに, 実数などの演算の法則と関連付けて, ベクトルの演算法則を考察する	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 授業内発表 課題
	6 7		第2節 ベクトルと平面図形 期末考査	ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解するとともに, ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて, 平面図形や空間図形の性質を見いだしたり, 多面的に考察したりする	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 授業内発表 課題 定期考査
第2学期	9 10	第2章 空間のベクトル	空間のベクトル 中間考査	放物線, 楕円, 双曲線が二次式で表されること及びそれらの二次曲線の基本的な性質について理解するとともに, 放物線, 楕円, 双曲線を相互に関連付けて捉え, 考察する	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 授業内発表 課題 定期考査
	11 12	第3章 複素数平面	複素数平面 期末考査	複素数平面と複素数の極形式, 複素数の実数倍, 和, 差, 積及び商の図形的な意味を理解するとともに, 複素数平面における図形の移動などに関連付けて複素数の演算などの意味を考察する	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 授業内発表 課題 定期考査
	1 2 3	第4章 式と曲線	第1節 2次曲線 第2節 媒介変数表示と極座標	ド・モアブルの定理について理解するとともに, 複素数平面における図形の移動などに関連付けて, 累乗根の意味を考察する	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 授業内発表 課題 定期考査

令和 8 年度 数学科 数学研究 α

1 科目について

単位数	2単位	学科・学年	普通科・スポーツ科学科 3年次 自由選択
教科書	なし	副教材等	Study-up ノート 数学 I +A (数研出版)

2 科目の目標

<p>数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し、表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学の良さを認識し、それらを活用し、数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。</p>
--

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>【観点の到達目標】 ○数学 I について 数と式、図形と計量、2 次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 ○数学 A について 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p>	<p>【観点の到達目標】 ○数学 I について 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 ○数学 A について 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。</p>	<p>【観点の到達目標】 ○数学 I について 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 ○数学 A について 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
<p>【イチカシ学カスタンダード】 ・数学 I・A における基本的な概念や原理、法則を理解できる。 ・基本的な概念や原理、法則にしたがって基本的な計算ができる。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 ・問題を数学的に考察し解法の見通しをもてる。 ・解法の見通しにしたがって答えを求められる。 ・求めた答えが問題の答えとして適切であるかを振り返り判断できる。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 ・積極的に授業に取り組む姿勢や粘り強く問題に立ち向かう姿勢が身につく。</p>
<p>【評価の方法】 定期考査</p>	<p>【評価の方法】 定期考査</p>	<p>【評価の方法】 ・演習ノートの取り組み内容 ・発表の発言内容 ・科目に取り組む姿勢 ・授業内小テスト ・ポートフォリオ など</p>

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の3観点から規準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 5	～数学Ⅰ～ 第1章 数と式	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数を実数まで拡張する意義を理解するとともに, 簡単な無理数の計算をすることができる。 ・集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 ・二次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算をすることができる。 ・不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに, 一次不等式の解を求めることができる。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集合の考えを用いて命題を論理的に考察し, 簡単な命題の証明をすることができる。 ・問題を解決する際に, 既に学習した計算の方法と関連付けて, 式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 ・一次方程式を解く方法や不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え, 一次不等式を問題解決に活用することができる。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し, 問題解決にそれらを活用しようとしたり, 粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとしている。 	3の【評価の方法】に準ずる
6	第3章 二次関数	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・二次関数の最大値や最小値を求めることができる。 ・二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解している。 ・二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し, 二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めることができる。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次関数の式とグラフとの関係について, コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。 ・二つの数量の関係に着目し, 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え, 問題を解決したり, 解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象を二次関数の考えを用いて考察するよさを認識し, 問題解決にそれらを活用しようとしたり, 粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとしている。 	3の【評価の方法】に準ずる
7	第4章 図形と計量	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解している。 ・三角比を鈍角まで拡張する意義を理解している。 ・鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解している。 ・正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解している。 ・正弦定理や余弦定理などを用いて三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し, 定理や公式として導くことができる。 ・図形の構成要素間の関係に着目し, 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え, 問題を解決したり, 解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し, 問題解決にそれらを活用しようとしたり, 粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとしている。 	3の【評価の方法】に準ずる
9	第5章 データの分析	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分散, 標準偏差, 散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解している。 ・コンピュータなどの情報機器を用いるなどして, データを表やグラフに整理したり, 分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。 ・具体的な事象において仮説検定の考え方を理解している。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。 ・目的に応じて複数の種類のデータを収集し, 適切な統計量やグラフ, 手法などを選択して分析を行い, データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。 ・不確実な事象の起こりやすさに着目し, 主張の妥当性について, 実験などを通して判断したり, 批判的に考察したりすることができる。 	3の【評価の方法】に準ずる

		<p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象をデータの分析の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	
10	～数学 A～ 第1章 場合の数と確率	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解している。 ・具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めることができる。 ・確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。 ・独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めることができる。 ・条件付き確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求めることができる。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。 ・確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察することができる。 ・確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用したりすることができる。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象を場合の数や確率の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	3の【評価の方法】に準ずる
11	第2章 図形の性質	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角形に関する基本的な性質について理解している。 ・円に関する基本的な性質について理解している。 ・空間図形に関する基本的な性質について理解している。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。 ・コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図について統合的・発展的に考察することができる。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	3の【評価の方法】に準ずる
12			
1	第3章 数学と人間の活動	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形に関する概念などと人間の活動の関わりについて理解している。 ・数学史的な話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関わりについて理解している。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察することができる。 ・パズルなどに数学的な要素を見だし、目的に応じて数学を活用して考察することができる。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の活動における数学のよさを認識し、様々な場面で数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	3の【評価の方法】に準ずる

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<p>・数学の授業は、1時間ごとの積み重ねで進んでいきます。</p> <p>欠席や欠場で出席できなかった授業は、自分で学習し、わからないときは、すぐに先生に質問し理解するようにしてください。</p> <p>・数学で最も重要なことは、計算することではなく考えることです。数学を通して、論理的な考え方やその表現方法を学ぶことができます。</p> <p>多くの問題を解き、自分で考える力を身につけてください。</p> <p>・授業では、説明、例題、演習のくり返しです。</p> <p>説明、例題でしっかりと理解し、そして演習では、何も見ずに解けるようになるまで練習してください。</p> <p>・ノートは板書を単に写すだけではなく、例題の解法等において、手順やそこで必要な公式等の確認事項などが十分に理解できるように作成することが大切です。</p> <p>・図やグラフは単にきれいにかくのではなく、ポイントをうまく表現できるようにかくことも理解を深めることになります。</p> <p>・例題を参考に積極的に練習問題等に取り組み、繰り返しのなかで理解を深めることが大切です。</p> <p>・授業の開始のチャイムが鳴るまでに、授業に必要な道具を準備して各自着席を完了し、授業がすぐ始められるようにしてください。</p> <p>・欠席をした場合は、その授業について十分に学習し、理解しておくことが大切です。必要であれば補習の申し出をすること。</p>
--

令和8年度 数学科 「 数学研究β 」 シラバス

単位数	4単位	学科・学年・学級	普通科 3年次 理系選択
教科書	なし	副教材	チェックノート数学Ⅰ+A チェックノート数学Ⅱ+B

1 科目の目標

数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し、表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学の良さを認識し、それらを活用し、数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。

2 学習計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 5	～数学Ⅰ～ 数と式 二次関数 図形と軽量	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整式の加法・減法・乗法、および因数分解について理解を深め、公式などを利用して整式の展開や因数分解を能率よく計算できるよ。 ・平方根を含む計算の基本的な考え方について理解を深める。1次不等式の解法に習熟させ、大小に関する身近な問題の解決に活用できる。 ・2次関数のグラフの概形を平行移動の考え方を利用して描ける。 ・与えられた放物線のグラフからその2次関数を定められるようにする。 ・2次関数のグラフを利用して2次関数や2次不等式の解について理解を深め、2次不等式の解法を習熟させる。 ・三角比の意味やその基本性質について理解し、三角比を用いた計量の有用性を認識し、活用する。 ・正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて辺の長さや角の大きさを求められる。 ・四分位数、四分位範囲、四分位偏差、分散及び標準偏差などの用語を知り、意味を理解させるとともに、それらを利用してデータの傾向を的確にとらえ説明できる。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用する。 ・2次関数の最大・最小について理解を深め、最大値や最小値を求める具体的な問題の解決に活用できる。 ・2次方程式の解法に習熟させ、解の公式や実数解の個数について理解を深め、身近な事象の問題の解決に活用できる。 ・三角比を平面図形や空間図形の考察に活用する。 ・散布図及び相関係数の意味を理解させるとともに、それらを利用してデータの相関を的確にとらえ説明できる。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	定期考査 課題提出 授業態度
6	～数学A～ 場合の数と確率	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・順列の意味を理解させ、その総数を求められる。 ・組み合わせの意味を理解させ、その総数を求められる。 ・Cの意味を理解させ、公式が活用できる。 ・試行や事象の考え方を明確にして、確率の基本的な法則をまとめ、いろいろな事象の確率について理解する。 ・集合の考え方とその要素の数え方を適切に活用し、同様に確からしい事象の確率が求められる。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独立な試行について、具体例を通してその意味を理解させる。それをもとに、反復試行の確率が求められる。 ・条件つき確率の意味を理解させ、簡単な場合について条件つき確率を求め、それを事象の考察に活用できる。 ・約数と倍数、素因数分解、最大公約数、最小公倍数、ユークリッドの互除法、方程式の整数解、循環小数、2進法などを理解させ、整数の性質の活用ができる。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確率の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	定期考査 課題提出 授業態度
7	～数学Ⅱ～ 式と証明	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できる。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。 ・方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して二次方程式を解くこと及び因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高次方程式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	定期考査 課題提出 授業態度

9	～数学Ⅱ～ 図形と方程式 三角関数 指数関数	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点や直線の基本的な性質や関係を座標や式を用いて考察し、2点間の距離、分点の座標、直線の方程式などについて理解できる。 ・座標や式を用いて、円の基本的な性質を考察し、円の方程式、円と直線の位置関係、円の接線の方程式などについて理解できる。 ・角の概念を拡張し、一般角の三角関数を定義し、三角関数の間の関係、グラフ、方程式、不等式、加法定理などについて理解できる。 ・指数を正の整数から有理数まで拡張し、数関数を定義し、その基本的な性質、グラフ、方程式、不等式などについて理解できる。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・x, yの不等式と領域の関係を学び、その応用について活用できる。 ・対数を定義し、その基本的な性質、対数の値、簡単な式の計算、常用対数などについて学び、対数関数を定義し、そのグラフを活用できる。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指数・対数関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	定期考査 課題提出 授業態度
10	～数学Ⅱ～ 微分法と積分法	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事象の考察を通して、微分係数や導関数、接線などの微分の考えを理解できる。 ・微分の考えに関連して積分の考えについて理解し、関数の不定積分、定積分の計算ができる。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関数の増加・減少、極値を調べ、そのグラフの概形を描くことや接線をもちいた活用ができる。 ・積分の考えを用いて、直線や放物線で囲まれた面積を求め、図形に応用することができる。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・微分積分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	定期考査 課題提出 授業態度
11 12	～数学B～ 数列	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・等差数列、等比数列など、簡単な数列について一般項や第 n 項までの和について理解できる。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数列を用いて事象を数学的に考察し Σ や階差数列について理解させ、それらを用いて事象を数学的に考察できる。 ・漸化式、数学的帰納法について理解させ、それらを用いて事象を数学的に考察し処理できるようにする。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数列の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	定期考査 課題提出 授業態度
1	～数学A～ 図形の性質	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外角の場合も含めた角の二等分線と辺の比の関係、重心、内心、外心などの性質を扱い、これらの図形の性質を図形の考察に活用できる。 ・チェバやメネラウスの定理を理解できる。 ・円に内接する四角形の性質、円の接線と弦のつくる角の性質について理解できる。 ・方べきの定理を扱い、これらを図形の考察に活用できる。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空間における直線や平面の位置関係やなす角についての理解を深める。 ・多面体などに関する基本的な性質について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形における数学のよさを認識し、様々な場面で数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	定期考査 課題提出 授業態度

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・数学の授業は、1時間ごとの積み重ねで進んでいきます。
- 欠席や公欠で出席できなかった授業は、自分で学習し、わからないときは、すぐに先生に質問し理解するようにしてください。
- ・数学で最も重要なことは、計算することではなく考えることです。数学を通して、論理的な考え方やその表現方法を学ぶことができます。
- 多くの問題を解き、自分で考える力を身につけてください。
- ・ノートは板書を単に写すだけではなく、例題の解法等において、手順やそこで必要な公式等の確認事項などが十分に理解できるように作成することが大切です。
- ・図やグラフは単にきれいにかくのではなく、ポイントをうまく表現できるようにかくことも理解を深めることになります。
- ・例題を参考に積極的に練習問題等に取り組み、繰り返しのなかで理解を深めることが大切です。・欠席をした場合は、その授業について十分に学習し、理解しておくことが大切です。

令和8年度 「理科 生物」シラバス

教科	理科	科目	生物	単位数	4単位
学級	3年B、C組	教材・副教材	教科書：高等学校生物（第一学習社） 副教材等：セミナー生物（第一学習社）		

1 科目の目標

生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことにより、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4 5	第1章 生物の進化 第2章 生物の系統と進化	1. 生命の起源と細胞の進化 2. 遺伝子の変化と遺伝子の組み合わせの変化 1. 生物の系統 2. 人類の系統と進化	原始地球の環境における有機物の生成に関する実験にもとづいて、生命の起源に関する考えを理解する。DNAの塩基配列の変化によってアミノ酸配列が変化するしくみを理解する。人為分類と系統分類の違い、原生生物、植物、菌類、動物の特徴を理解する。 植物・動物の系統関係を理解する。二名法による種の表し方を理解する。 交配実験の結果などの資料にもとづいて、連鎖している遺伝子の組み合わせは変化しうることを見いだして理解する。	定期考査 小テスト レポート 課題 授業態度
	6 7	第3章 細胞と分子 第4章 代謝	1. 生体物質と細胞 2. タンパク質の構造と性質 3. 生命現象とタンパク質 1. 代謝とエネルギー 2. 炭酸同化 3. 異化	生物を構成する主な物質は、水、タンパク質、脂質、炭水化物であることを理解する。タンパク質は、アミノ酸がペプチド結合によって多数つながり、一次構造、二次構造、三次構造、四次構造を形成することを理解する。・酵素の基質特異性を立体構造や補酵素と関連づけて理解する。代謝（同化と異化）におけるエネルギーの流れについて理解する。 カタラーゼの働きを確かめる実験を正しく実施し、タンパク質の立体構造は、機能と密接に関連していることを考察する。・酵素反応の阻害には、競争的阻害と非競争的阻害があることを理解する。緑葉に含まれる光合成色素を分離し、分離された色素の色とRf値から色素の種類を推測する。	定期考査 小テスト レポート 課題 授業態度
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9 10	第5章 遺伝情報とその発現 第6章 遺伝子の発現調節と発生 第7章 遺伝子を扱う技術とその応用	1. DNAの複製 2. 遺伝子の発現 1. 遺伝子の発現調節 2. 発生と遺伝子の発現	DNAの構造と複製、転写と翻訳による遺伝子の発現調節について理解する。 ウニ・ショウジョウバエ・カエルの受精や発生メカニズムについて理解する。 遺伝子の構造や発現を解析する方法、遺伝子の機能を解析する方法を理解する。 真核細胞において転写が開始されるしくみについて理解する。選択的スプライシングによって、1種類のmRNA前駆体から2種類以上のmRNAがつくられることを理解する。 原核生物におけるラクトースオペロンの発現調節について理解する	定期考査 小テスト レポート 課題 授業態度

11 12	第8章 動物の反応と行動 第9章 植物の成長と環境応答	1. 刺激の受容と反応 2. 動物の行動 1. 植物と環境 2. 植物の一生と植物ホルモン	動物は受容器で刺激を受容し、中枢神経系を経て効果器に情報を伝えることで、刺激に対して反応していることを理解する。ニューロンの基本構造を学び、ヒトの神経系の構成について理解する。静止電位と活動電位が生じるしくみを、チャネルの働きとイオンの流れと関連づけて理解する。被子植物の配偶子形成と重複受精について学び、被子植物の胚発生の過程を理解する。 刺激が中枢に伝わる過程とその特徴について理解する。桿体細胞と錐体細胞の分布や、吸収する光の特徴を理解する。耳の構造と聴覚が生じるしくみを理解する。生得的行動と習得的行動の特徴を、神経回路の変化の有無の違いから考察する。	定期考査 小テスト レポート 課題 授業態度	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第10章 生態系のしくみと人間の関わり 1. 個体群と生物群集 2. 生態系の物質生産と消費 3. 生態系と人間生活		個体群と相互作用について理解する。・ニッチの概念を理解する。生態系における物質生産について理解する。生物多様性の3つのとらえ方を理解する。 層別刈取法によって生産構造を調べ、生産構造図を考察する。物質収支に関する資料にもとづいて、捕食-被食の関係に伴うエネルギーの流れを考察する。化学肥料の使用による植物プランクトン量の変化などの資料にもとづいて、化学肥料が生態系にどのような影響を与えるかを見いだして理解する。	定期考査 小テスト レポート 課題 授業態度

3 評価の観点

知識・技能	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

4 評価の方法

<ul style="list-style-type: none"> ・知識技能…定期テスト（小テスト） ・思考判断表現…定期テスト（小テスト）、レポート、課題 ・主体的に学習に取り組む態度…コメントシート、提出物
--

5 担当者からのメッセージ

<p>①理科の見方・考え方を働かせて学習に取り組みましょう。</p> <p>②プリントを管理するためのファイルを用意して下さい。</p> <p>③課題プリントや問題集を反復して解いて、学習内容の定着をはかりましょう。</p> <p>④実験では、事前の注意事項をよく聞き、指示に従い事故のないように十分注意してください。</p>

令和8年度 「理科 生物 VW」 シラバス

教科	理科	科目	生物	単位数	4単位
学級	3年 A、D、E、G、H、I組	教材・副教材	教科書：高等学校生物（第一学習社） 副教材等：セミナー生物（第一学習社）		

1 科目の目標

生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことにより、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4 5	第1章 生物の進化 第2章 生物の系統と進化	1. 生命の起源と細胞の進化 2. 遺伝子の変化と遺伝子の組み合わせの変化 1. 生物の系統 2. 人類の系統と進化	原始地球の環境における有機物の生成に関する実験にもとづいて、生命の起源に関する考えを理解する。DNA の塩基配列の変化によってアミノ酸配列が変化するしくみを理解する。人為分類と系統分類の違い、原生生物、植物、菌類、動物の特徴を理解する。 植物・動物の系統関係を理解する。二名法による種の表し方を理解する。 交配実験の結果などの資料にもとづいて、連鎖している遺伝子の組み合わせは変化しうることを見いだして理解する。	定期考査 小テスト レポート 課題 授業態度
	6 7	第3章 細胞と分子 第4章 代謝	1. 生体物質と細胞 2. タンパク質の構造と性質 3. 生命現象とタンパク質 1. 代謝とエネルギー 2. 炭酸同化 3. 異化	生物を構成する主な物質は、水、タンパク質、脂質、炭水化物であることを理解する。タンパク質は、アミノ酸がペプチド結合によって多数つながり、一次構造、二次構造、三次構造、四次構造を形成することを理解する。・酵素の基質特異性を立体構造や補酵素と関連づけて理解する。代謝（同化と異化）におけるエネルギーの流れについて理解する。 カタラーゼの働きを確かめる実験を正しく実施し、タンパク質の立体構造は、機能と密接に関連していることを考察する。・酵素反応の阻害には、競争的阻害と非競争的阻害があることを理解する。緑葉に含まれる光合成色素を分離し、分離された色素の色と Rf 値から色素の種類を推測する。	定期考査 小テスト レポート 課題 授業態度
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9 10	第5章 遺伝情報とその発現 第6章 遺伝子の発現調節と発生 第7章 遺伝子を扱う技術とその応用	1. DNA の複製 2. 遺伝子の発現 1. 遺伝子の発現調節 2. 発生と遺伝子の発現	DNA の構造と複製、転写と翻訳による遺伝子の発現調節について理解する。 ウニ・ショウジョウバエ・カエルの受精や発生メカニズムについて理解する。 遺伝子の構造や発現を解析する方法、遺伝子の機能を解析する方法を理解する。 真核細胞において転写が開始されるしくみについて理解する。選択的スプライシングによって、1種類の mRNA 前駆体から2種類以上の mRNA がつくられることを理解する。 原核生物におけるラクトースオペロンの発現調節について理解する	定期考査 小テスト レポート 課題 授業態度

11 12	第8章 動物の反応と行動 第9章 植物の成長と環境応答	1. 刺激の受容と反応 2. 動物の行動 1. 植物と環境 2. 植物の一生と植物ホルモン	動物は受容器で刺激を受容し、中枢神経系を経て効果器に情報を伝えることで、刺激に対して反応していることを理解する。ニューロンの基本構造を学び、ヒトの神経系の構成について理解する。静止電位と活動電位が生じるしくみを、チャネルの働きとイオンの流れと関連づけて理解する。被子植物の配偶子形成と重複受精について学び、被子植物の胚発生の過程を理解する。 刺激が中枢に伝わる過程とその特徴について理解する。桿体細胞と錐体細胞の分布や、吸収する光の特徴を理解する。耳の構造と聴覚が生じるしくみを理解する。生得的行動と習得的行動の特徴を、神経回路の変化の有無の違いから考察する。	定期考査 小テスト レポート 課題 授業態度	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第10章 生態系のしくみと人間の関わり 1. 個体群と生物群集 2. 生態系の物質生産と消費 3. 生態系と人間生活		個体群と相互作用について理解する。・ニッチの概念を理解する。生態系における物質生産について理解する。生物多様性の3つのとらえ方を理解する。 層別刈取法によって生産構造を調べ、生産構造図を考察する。物質収支に関する資料にもとづいて、捕食-被食の関係に伴うエネルギーの流れを考察する。化学肥料の使用による植物プランクトン量の変化などの資料にもとづいて、化学肥料が生態系にどのような影響を与えるかを見いだして理解する。	定期考査 小テスト レポート 課題 授業態度

3 評価の観点

知識・技能	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

4 評価の方法

<ul style="list-style-type: none"> ・知識技能…定期テスト（小テスト） ・思考判断表現…定期テスト（小テスト）、レポート、課題 ・主体的に学習に取り組む態度…コメントシート、提出物
--

5 担当者からのメッセージ

<ul style="list-style-type: none"> ①理科の見方・考え方を働かせて学習に取り組みましょう。 ②プリントを管理するためのファイルを用意して下さい。 ③課題プリントや問題集を反復して解いて、学習内容の定着をはかりましょう。 ④実験では、事前の注意事項をよく聞き、指示に従い事故のないように十分注意してください。
--

令和8年度 「理科 生物 WX」 シラバス

教科	理科	科目	生物	単位数	4単位
学級	3年D、E、F、G組	教材・副教材	教科書：高等学校生物（第一学習社） 副教材等：セミナー生物（第一学習社）		

1 科目の目標

生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことにより、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4 5	第1章 生物の進化 第2章 生物の系統と進化	1. 生命の起源と細胞の進化 2. 遺伝子の変化と遺伝子の組み合わせの変化 1. 生物の系統 2. 人類の系統と進化	原始地球の環境における有機物の生成に関する実験にもとづいて、生命の起源に関する考えを理解する。DNAの塩基配列の変化によってアミノ酸配列が変化するしくみを理解する。人為分類と系統分類の違い、原生生物、植物、菌類、動物の特徴を理解する。 植物・動物の系統関係を理解する。二名法による種の表し方を理解する。 交配実験の結果などの資料にもとづいて、連鎖している遺伝子の組み合わせは変化しうることを見いだして理解する。	定期考査 小テスト レポート 課題 授業態度
	6 7	第3章 細胞と分子 第4章 代謝	1. 生体物質と細胞 2. タンパク質の構造と性質 3. 生命現象とタンパク質 1. 代謝とエネルギー 2. 炭酸同化 3. 異化	生物を構成する主な物質は、水、タンパク質、脂質、炭水化物であることを理解する。タンパク質は、アミノ酸がペプチド結合によって多数つながり、一次構造、二次構造、三次構造、四次構造を形成することを理解する。・酵素の基質特異性を立体構造や補酵素と関連づけて理解する。代謝（同化と異化）におけるエネルギーの流れについて理解する。 カタラーゼの働きを確かめる実験を正しく実施し、タンパク質の立体構造は、機能と密接に関連していることを考察する。・酵素反応の阻害には、競争的阻害と非競争的阻害があることを理解する。緑葉に含まれる光合成色素を分離し、分離された色素の色とRf値から色素の種類を推測する。	定期考査 小テスト レポート 課題 授業態度
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9 10	第5章 遺伝情報とその発現 第6章 遺伝子の発現調節と発生 第7章 遺伝子を扱う技術とその応用	1. DNAの複製 2. 遺伝子の発現 1. 遺伝子の発現調節 2. 発生と遺伝子の発現	DNAの構造と複製、転写と翻訳による遺伝子の発現調節について理解する。 ウニ・ショウジョウバエ・カエルの受精や発生メカニズムについて理解する。 遺伝子の構造や発現を解析する方法、遺伝子の機能を解析する方法を理解する。 真核細胞において転写が開始されるしくみについて理解する。選択的スプライシングによって、1種類のmRNA前駆体から2種類以上のmRNAがつくられることを理解する。 原核生物におけるラクトースオペロンの発現調節について理解する	定期考査 小テスト レポート 課題 授業態度

11 12	第8章 動物の反応と行動 第9章 植物の成長と環境応答	1. 刺激の受容と反応 2. 動物の行動 1. 植物と環境 2. 植物の一生と植物ホルモン	動物は受容器で刺激を受容し、中枢神経系を経て効果器に情報を伝えることで、刺激に対して反応していることを理解する。ニューロンの基本構造を学び、ヒトの神経系の構成について理解する。静止電位と活動電位が生じるしくみを、チャネルの働きとイオンの流れと関連づけて理解する。被子植物の配偶子形成と重複受精について学び、被子植物の胚発生の過程を理解する。 刺激が中枢に伝わる過程とその特徴について理解する。桿体細胞と錐体細胞の分布や、吸収する光の特徴を理解する。耳の構造と聴覚が生じるしくみを理解する。生得的行動と習得的行動の特徴を、神経回路の変化の有無の違いから考察する。	定期考査 小テスト レポート 課題 授業態度	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第10章 生態系のしくみと人間の関わり 1. 個体群と生物群集 2. 生態系の物質生産と消費 3. 生態系と人間生活		個体群と相互作用について理解する。・ニッチの概念を理解する。生態系における物質生産について理解する。生物多様性の3つのとらえ方を理解する。 層別刈取法によって生産構造を調べ、生産構造図を考察する。物質収支に関する資料にもとづいて、捕食-被食の関係に伴うエネルギーの流れを考察する。化学肥料の使用による植物プランクトン量の変化などの資料にもとづいて、化学肥料が生態系にどのような影響を与えるかを見いだして理解する。	定期考査 小テスト レポート 課題 授業態度

3 評価の観点

知識・技能	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

4 評価の方法

<ul style="list-style-type: none"> ・知識技能…定期テスト（小テスト） ・思考判断表現…定期テスト（小テスト）、レポート、課題 ・主体的に学習に取り組む態度…コメントシート、提出物
--

5 担当者からのメッセージ

<ul style="list-style-type: none"> ①理科の見方・考え方を働かせて学習に取り組みましょう。 ②プリントを管理するためのファイルを用意して下さい。 ③課題プリントや問題集を反復して解いて、学習内容の定着をはかりましょう。 ④実験では、事前の注意事項をよく聞き、指示に従い事故のないように十分注意してください。
--

令和 8年度 理科 「 理科研究 」 シラバス

単位数	2	学科・学年・学級	3年 自由選択
教科書	化学、物理、生物の教科書	副教材	各教科

1 科目の目標

物理・化学・生物の知識を横断的に活用し、身近な疑問を科学の力で解き明かす「探究の実践力」を養います。自ら問いを立て、仮説検証を繰り返すプロセスを通じて、未知の課題に挑む思考力を磨きます。論理的なレポート作成法や探究の手法を基礎から習得し、実験や考察での試行錯誤を楽しみながら、科学的根拠に基づいて自らの考えを発信できる主体的かつ創造的な学び手となることを目指します。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	中間報告	研究内容の決定	班ごとに研究内容を決定する	実験活動 レポート 小テスト 発表 など
	5		研究計画の作成	1学期間の授業数と照らし合わせて、実験、レポート作成、発表用意ができるよう計画を立てていく	
5			準備	各班、実験を進めていく	レポート形式で現状を報告する。 状況に合わせて、実験計画などを修正していく
	実験				
	中間発表				
6	発表	中間発表の反省	授業数と照らし合わせて、実験、レポート作成、発表用意ができるよう計画を立てていく	各班、実験を進めていく	実験活動 レポート 小テスト 発表 など
		研究計画の修正			
		準備			
		実験			
7		発表	スライド、演示実験などを用いて発表をする		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	中間報告	研究内容の決定	班ごとに研究内容を決定する	実験活動 レポート 小テスト 発表 など
			研究計画の作成	1学期間の授業数と照らし合わせて、実験、レポート作成、発表用意ができるよう計画を立てていく	
			準備	各班、実験を進めていく	
			実験		
10	中間発表	レポート形式で現状を報告する。 状況に合わせて、実験計画などを修正していく			

	11	発表	中間発表の反省 研究計画の修正 準備 実験	授業数と照らし合わせて、実験、レポート作成、発表用意ができるよう計画を立てていく 各班、実験を進めていく	実験活動 レポート 小テスト 発表 など
	12		発表	スライド、演示実験などを用いて発表をする	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	最終報告	1年間のまとめ	1, 2学期の研究を1つの報告書としてまとめる。	実験活動 レポート 小テスト 発表 など

令和8年度 理科 「理科研究 X」 シラバス (3年)

単位数	2 単位	学科学年学級	普通科 3 学年 BC 組
教科書	改訂 高等学校 生物(第一学習社) 改訂高等学校生物基礎(第一学習社)	副教材等	セミナー生物基礎+生物(第一学習社) スクエア最新図説生物ネオ(第一学習社)

1 学習の到達目標

<p>① 日常生活の中で生物や生命現象への関心を高め、生物学的に探究する能力と態度を培う。</p> <p>② 生物学の基本的な概念や原理法則を理解し、科学的な見方や考え方を身に着ける。</p> <p>② 観察・実験による探究を通して、生物の共通性と多様性の視点を身につける。</p> <p>③ 生物の環境への応答や、生態系での役割について理解を深め、生命の歴史と系統分類について考察する力を身につける。</p>

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	第一章 生物の特徴	1 生物の共通性 2 生物とエネルギー 3 細胞構造と生物の 共通祖先 4 生物とエネルギー 5 代謝とATP 6 代謝と酵素	1年次の復習をしながら、問題演習を通じて理解を深める	・授業態度 ・発問評価 ・実験報告書 ・小テスト など
5	第二章 遺伝子とその 働き	1 遺伝情報とDNA 2DNA の複製と分配 3 タンパク質 4 遺伝情報とタンパク 質の合成 5 遺伝子とゲノム	1年次の復習をしながら、問題演習を通じて理解を深める	・授業態度 ・発問評価 ・実験報告書 ・小テスト など
6	第三章 ヒトの体内環境 の維持	1 情報伝達と恒常性 2 自律神経系による体 内環境の調節 3 内分泌系による体内 環境の調節 4 体内環境を調節する しくみ 5 血液凝固 6 病原体への防御のし くみ 7 自然免疫 8 獲得免疫 9 自然免疫と獲得免疫 の特徴 10 免疫と生活	1年次の復習をしながら、問題演習を通じて理解を深める	・授業態度 ・発問評価 ・実験報告書 ・小テスト など

7	第四章 植生と遷移	1 植生と環境の関り 2 遷移のしくみ 3 遷移とバイオーム	1年次の復習をしながら、問題演習を通じて理解を深める	・授業態度 ・発問評価 ・実験報告書 ・小テスト など
9	第五章 生態系とその 保全	1 生態系の成り立ち 2 生態系における生物 どうしの関り 3 生態系の変動と安定 性 4 人間活動による生態 系への影響とその対策	1年次の復習をしながら、問題演習を通じて理解を深める	・授業態度 ・発問評価 ・実験報告書 ・小テスト など
10 11 12 1	生物基礎 全範囲	生物基礎 全範囲	入試問題等の演習を行い、応用力を身に付ける。	・授業態度 ・発問評価 ・実験報告書 ・定期考査

3 評価の観点

知識・技能	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

4 評価の方法

<ul style="list-style-type: none"> ・知識技能…定期テスト（小テスト） ・思考判断表現…定期テスト（小テスト）、レポート、課題 ・主体的に学習に取り組む態度…コメントシート、提出物
--

5 担当者からのメッセージ

<p>① 教科書や資料集に載っている事柄を、実験や実習などを通して深く理解してください。</p> <p>②復習を行うことで学習した内容を定着させ、次の授業に臨むようにしてください。</p> <p>③生命現象を科学的に見る力を養ってください。</p>
--

令和 8 年度 理科 「 化学 」 シラバス

単位数	2	学科・学年・学級	普通科 3年次 B・C組
教科書	化学 704 「化学」 実教出版	副教材	「アクセスノート化学」 実教出版

1 科目の目標

化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	有機化合物	有機化合物の特徴と分類	<ul style="list-style-type: none"> ・有機化合物の特徴と分類、構造決定について理解している。 ・有機化合物の構造決定の手順を理解し、実際に未知の化合物の構造を決定することができる。 ・有機化合物の特徴と分類について探究しようとする。 	授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト
	5		脂肪族炭化水素	<ul style="list-style-type: none"> ・炭化水素の構造や反応性、それぞれの関係について理解し、知識として身につけている。 ・アルカン、アルケン、アルキンのそれぞれの性質が構造に関連していることを理解し、異性体についても論理的に考察することができる。 ・アルカン、アルケン、アルキンについて、その構造と性質を意欲的に探究しようとする。 ・酸素を含む脂肪族化合物について、その性質や反応性が官能基によって特徴付けられることを理解している。また、実験によって確かめられる。 	
	6	酸素を含む脂肪族化合物	<ul style="list-style-type: none"> ・酸素を含む脂肪族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたらされることを理解し、その性質を実験的に確かめることができる。 ・酸素を含む脂肪族化合物について、その構造や性質、反応性を意欲的に探究し、官能基ごとに整理しようとする。 	授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト	
7	芳香族化合物	<ul style="list-style-type: none"> ・芳香族化合物について、その性質や反応性が官能基によって特徴付けられることを理解している。また、実験によって確かめられる。 ・芳香族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたらされることを理解し、その性質を実験的に確かめることができる。 ・芳香族炭化水素について、その構造や性質、反応性を意欲的に探究しようとする。 			
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等

第2学期	9	高分子化合物	高分子化合物	<ul style="list-style-type: none"> ・高分子化合物の分類と特徴について理解している。 ・高分子化合物の特徴を理解し、分類することができる。 ・高分子化合物の分類と特徴について探究しようとする。 	授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト
	10		天然高分子化合物	<ul style="list-style-type: none"> ・人間生活で利用されている天然高分子化合物について理解し、具体的な例を知識として身に着けている。 ・天然高分子化合物について、代表的な物質の構造とその性質、存在例を理解することができる。 ・人間生活に利用されている天然高分子化合物について興味を持ち、その利用のされ方を積極的に探究しようとする。 	
	11		合成高分子化合物	<ul style="list-style-type: none"> ・人間生活で利用されている合成高分子化合物について理解し、具体的な例を知識として身につけている。 ・合成高分子化合物について、代表的な物質の構造とその性質、利用例を理解することができる。また、単量体から高分子化合物の構造式を書くことができる。 ・人間生活に利用されている合成高分子化合物について興味を持ち、その利用のされ方を積極的に探究しようとする。 	授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト
	12				
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1		課題研究	<ul style="list-style-type: none"> ・化学の基礎知識を活用し、自ら実験計画を立てることができる。 ・実験結果を考察し、発表することができる。 ・自身の考察を共有し、またそこから新たな疑問解決のために調べ学習をすることができる。 	授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト

令和 8 年度 理科 「 化学 」 シラバス

単位数	4	学科・学年・学級	普通科 3年次 B・C組
教科書	化学 704 「化学」 実教出版	副教材	「アクセスノート化学」 実教出版

1 科目の目標

化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	物質の状態と平衡	状態変化	<ul style="list-style-type: none"> ・物質の構造と沸点・融点の関係について、基本的概念や知識を身につけている。状態の平衡と粒子の熱運動について、基本的な原理や知識を理解している。 ・物質の構造が沸点・融点に大きく影響していることを考えることができる。平衡状態における粒子のふるまいについて推論することができ、モデルで表現することができる。 ・化学的な事物・現象に対して、主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする。また、科学的に探究しようとする。 	授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト
	5		固体の構造	<ul style="list-style-type: none"> ・結晶構造について、基本的な知識を身につけており結晶とアモルファスの違いについて理解している。 ・結晶構造を理解し、モデルで表現することができる。結晶とアモルファスの違いについて理解し、説明することができる。 ・結晶の構造について興味をもち、意欲的に探究しようとする。 	
	6		気体の性質	<ul style="list-style-type: none"> ・ボイル・シャルルの法則を理解し、知識として身につけている。気体の状態方程式の原理を理解し、関連問題を解くことができる。 ・気体の温度、体積、圧力の関係を論理的に考え、基本的な計算で導くことができる。気体の状態方程式について、その関係性を理解し、計算することができる。 ・気体の温度、体積、圧力の関係に関心をもち、探究しようとする。気体において成り立つ気体の状態方程式について、その導き方と計算方法について探究しようとする。 	授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト
7		溶液	<ul style="list-style-type: none"> ・溶解のしくみについて、基本的原理と知識を身につけている。溶解度の定義や法則を理解している。沸点上昇、蒸気圧降下、浸透圧などの溶液の性質について、その基本原理と知識を身につけている。コロイド溶液について、その基本概念と性質を実験を通して理解し、知識として身につけている。 		

				<ul style="list-style-type: none"> ・溶液の溶解の仕方について、その液性と関連付けて理論的に考えることができる。溶解度について理解し、計算することができる。沸点上昇、凝固点降下、浸透圧などについて理解し、それをもとにした計算をすることができる。コロイド溶液の性質について、推論することができる。 ・物質の溶解の仕方と溶解度について関心を持ち、探究しようとする。溶液の性質に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。コロイド溶液について、その性質やふるまいに関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	物質の変化と平衡	<p>化学反応と熱・光エネルギー</p> <p>電池と電気分解</p> <p>反応の速さとしくみ</p> <p>化学平衡</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・化学反応と熱・光エネルギーの関係について、基本的概念を理解している。 ・化学反応と熱・光エネルギーの関係について理解し、その性質や法則を論理的に考えることができる。 ・化学反応とエネルギーの関係について関心を持ち、熱エネルギーと光エネルギーについて探究しようとする。 ・電池と電気分解のしくみについて理解し、電気量と物質量の関係から、関連問題を解くことができる。 ・化学反応と電気エネルギーの関係について理解し、酸化還元反応と関連させて論理的に考えることができる。 ・化学反応とエネルギーの関係について関心を持ち、電気エネルギーについて探究しようとする。 ・反応速度に影響する条件を理解し、その知識をもとに反応のしくみを理解している。 ・反応の速さを決める条件やそのしくみを理解し、反応のしくみについて論理的に推論することができる。 ・反応の速さに関する事象・現象に関心を持ち、反応のしくみを探究しようとする。 ・化学平衡について、その概念、原理、法則を理解している。 ・化学平衡について、その原理と法則を論理的に理解することができる。 ・化学反応における可逆反応、化学平衡に興味を持ち、その現象について探究しようとする。 	<p>授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト</p>
			10	無機物質	周期表

		有機化合物	<p>非金属元素</p> <p>金属元素</p> <p>有機化合物の特徴と分類</p> <p>脂肪族炭化水素</p> <p>酸素を含む脂肪族化合物</p> <p>芳香族化合物</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・非金属元素の単体、化合物において、それぞれの物質の製法、性質、反応性について理解し、知識を身につけている。 ・それぞれの非金属元素の単体、化合物において、その性質や反応を論理的に類推、考察することができる。また、実験を通して判断することができる。 ・それぞれの非金属元素の単体、化合物について関心を持ち、その製法や性質、反応性について意欲的に探究しようとする。 ・金属元素の単体、化合物において、それぞれの物質の製法、性質、反応性について理解し、知識を身につけている。 ・それぞれの金属元素の単体、化合物の性質や反応を論理的に類推、考察することができる。また、実験を通して判断することができる。 ・それぞれの金属元素の単体、化合物について関心を持ち、その製法や性質、反応性について意欲的に探究しようとする。 ・有機化合物の特徴と分類、構造決定について理解している。 ・有機化合物の構造決定の手順を理解し、実際に未知の化合物の構造を決定することができる。 ・有機化合物の特徴と分類について探究しようとする。 ・炭化水素の構造や反応性、それぞれの関係について理解し、知識として身につけている。 ・アルカン、アルケン、アルキンのそれぞれの性質が構造に関連していることを理解し、異性体についても論理的に考察することができる。 ・アルカン、アルケン、アルキンについて、その構造と性質を意欲的に探究しようとする。 ・酸素を含む脂肪族化合物について、その性質や反応性が官能基によって特徴付けられることを理解している。また、実験によって確かめられる。 ・酸素を含む脂肪族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたらされることを理解し、その性質を実験的に確かめることができる。 ・酸素を含む脂肪族化合物について、その構造や性質、反応性を意欲的に探究し、官能基ごとに整理しようとする。 ・芳香族化合物について、その性質や反応性が官能基によって特徴付けられることを理解している。また、実験によって確かめられる。 	
1 2					

				<ul style="list-style-type: none"> ・芳香族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたらされることを理解し、その性質を実験的に確かめることができる。 ・芳香族炭化水素について、その構造や性質、反応性を意欲的に探究しようとする。 	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	高分子化合物	高分子化合物	<ul style="list-style-type: none"> ・高分子化合物の分類と特徴について理解している。 ・高分子化合物の特徴を理解し、分類することができる。 ・高分子化合物の分類と特徴について探究しようとする。 	授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト

令和8年度 理科 「基礎理科」 シラバス

単位数	2	学科・学年・学級	普通科／スポーツ科学科 3年次・選択Ⅴ, X
教科書		副教材	

1 学習の到達目標

身近なものを題材に科学的に探究し、日常にあふれる身近な事物・現象について基本的な概念や原理・法則についての理解を深める。また、科学技術の在り方やエネルギー問題について市民が意思決定をするために必要な科学的な知識、能力、態度を身につける。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
1	4 5	物理分野	○実験 01 紙飛行機の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・実験レポートの書き方、プレゼンテーションの作り方、発表の仕方について理解する。 ・紙飛行機を作成して、紙飛行機がなぜまっすぐ飛ぶことができるのかを実験を通して理解する。 ・紙飛行機が飛ぶ原理をもとに、さらに飛距離を伸ばすための工夫をする。 	レポート 課題 発表 振り返り シート 授業態度
	6 7		○実験 02 糸電話の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・糸電話を作成して、音がどのように伝わるのかを実験を通して理解する。 ・条件（材料など）を変えたとき、音の伝わり方にどのような違いが生まれるか調べる。 	
2	9 10	生物分野	○実験 03 味覚の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・ミラクルフルーツやギムネマ茶を用いて、味覚をつかさどる味細胞と受容体の仕組みについて理解する。 ・他に味覚を変化させる方法があるのか仮説を立て、実際に実験を通して検証する。 	
	11 12		○実験 04 自由課題	<ul style="list-style-type: none"> ・実験班ごとにテーマを設定し、実験・観察に取り組む。 	
3	1				

3. 評価の観点

知識・技能	科学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身に付けようとする。
思考・判断・表現	実験・観察などを通して、科学的な考えを深めるとともに、表現しようとする。
主体的に学習に取り組む態度	日常生活や社会との関連について興味を持ち、目的意識をもって実験・観察に取り組む。

4. 評価の方法

- ・知識技能 …… レポート、課題、発表（スライド・動画）、振り返りシート
- ・思考判断表現 …… レポート、課題、発表（スライド・動画）、振り返りシート
- ・主体的に学習に取り組む態度 …… レポート、課題、発表（スライド・動画）、振り返りシート

5. 担当者からのメッセージ (確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

- 授業や実験は物理実験室で行います。休み時間中に移動すること。チャイム初めには着席。
- 実験ノートとボールペンを各自用意すること。
- 実験ノートとボールペン、タブレットを毎回持ってくること。
- 実験では、事前の注意事項をよく聞き、指示に従い事故のないように十分注意すること。
- 積極的に実験に取り組むこと。
- 理科の見方・考え方を働かせて学習に取り組むこと。
- レポートやプレゼンテーション等の課題の提出期限を必ず守ること。

令和8年度 理科 「物理」シラバス

単位数	4	学科・学年・学級	普通科・3・BC理系選択
教科書	高等学校物理 (第一学習社)	副教材	新課程版スタディノート物理 (第一学習社)

1 学習の到達目標

- 1 物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
- 2 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- 3 物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第1章 運動とエネルギー	第1節 平面運動と放物運動 ①平面運動 ②放物運動	<p>変位や速度、加速度などについての基本的な物理量の定義を理解し、それぞれを式で表すことができる。</p> <p>速度の合成・分解や相対速度に関する現象を観察し、それぞれを式で表すことができる。</p> <p>水平投射、斜方投射の運動の特徴を踏まえ、運動のようすを表す式を導くことができる。</p> <p>アルミニウム箔のカップを落下させたときのようすから、空気抵抗の大きさを実感し、終端速度と質量との関係を求めることができる。</p> <p>変位や速度、加速度の違いを理解し、それぞれの関係を式で表すことができる。</p> <p>水平投射、または斜方投射された物体の速度を分解して、それぞれの運動の特徴を説明することができる。</p> <p>空気抵抗を受けて落下する物体について、運動方程式から終端速度と質量との関係を考えることができる。</p> <p>平面運動での位置や変位、速度、加速度などを表すベクトルについて、「物理基礎」で学習したベクトルの内容と関連させながら意欲的に理解しようとする。</p> <p>「物理基礎」で学習した等速直線運動や落下運動の式をもとに、水平投射と斜方投射について、定量的に考えようとする。</p> <p>アルミニウム箔のカップが落下するようすなどに関心を持ち、それらの現象を物理的に考えようとする。</p>	小テスト レポート 課題 授業プリント 演習ノート 授業態度
	5		第2節 剛体のつりあい ①剛体にはたらく力とその合力 ②剛体の重心とつりあい	<p>バットのひねりあいを通して、力のモーメントの大きさは、力の大きさとうでの長さに関係することを理解する。</p> <p>力が剛体におよぼすはたらきを考え、力のモーメントを用いて表すことができる。</p> <p>平行でない2力、平行な2力の違いを理解し、それぞれ適切に力の合成を行うことができる。</p> <p>剛体がつりあうときの力、力のモーメントの関係をそれぞれ確認し、剛体の重心を求めることができる。</p>	

			<p>ばねばかりとおもりを用いた実験から、剛体がつりあう条件を見出すことができる。</p> <p>剛体がつりあう条件について、式を用いて考えることができる。</p> <p>力のつりあいを用いて、さまざまな形状の剛体の重心を考えることができる。</p> <p>物体を傾けたときに転倒する条件について、力のモーメントのつりあいから調べることができる。</p> <p>剛体がつりあいの状態にあるときの条件を予想し、主体的に実験に取り組んでいる。</p> <p>質点と剛体の違いを踏まえ、剛体にはたらく力のはたらきについて意欲的に考察しようとする。</p> <p>重心を表す式を利用して、さまざまな形状の剛体で重心の位置を調べようとする。</p> <p>日常での経験と照らし合わせて力のモーメントを考え、物理学的に理解しようとする。</p>	<p>小テスト レポート 課題 授業プリント 演習ノート 授業態度</p>
5		<p>第3節 運動量の保存</p> <p>①運動量と力積 ②運動量保存の法則 ③反発係数</p>	<p>運動量と力積の物理量の定義を理解し、それぞれを式で表すことができる。</p> <p>F-t グラフから力積、力、衝突時間の関係を導くことができる。</p> <p>運動量保存の法則と反発係数の式を用いて、さまざまな衝突における速度や運動量などを計算することができる。</p> <p>反発係数の値に応じて、衝突による力学的エネルギーの変化を計算することができる。</p> <p>テニスのボールやピンポン球などを用いて、はね上がった高さを測定することで、床と間の反発係数を求めることができる。</p> <p>運動量がベクトルであることを理解し、運動量の変化と力積との関係について説明することができる。</p> <p>F-t グラフから物体が受ける力積の大きさや、平均の力を的確に読み取ることができる。</p> <p>作用・反作用の法則を用いて、物体が衝突や分裂をしたときの運動量保存の法則を考えることができる。</p> <p>連結した2台の台車を分裂させたときの運動量のように、運動量が保存されることを考察することができる。</p> <p>反発係数を理解し、衝突における力学的エネルギーの変化を考えることができる。</p> <p>運動量の意味について、キャッチボールやボウリングなどの身近な例をもとに理解しようとする。</p> <p>運動量の変化と力積との関係を用いて、さまざまな条件でおこる衝突について、運動量保存の法則を意欲的に導出しようとする。</p> <p>力学台車を用いた実験に主体的に取り組み、運動量保存の法則の式を用いて、物体の合体や分裂について、考察しようとする。</p> <p>ボールが跳ね返るときのように、その現象を物理的に考えようとする。</p>	<p>小テスト レポート 課題 授業プリント 演習ノート 授業態度</p>
中間考査				

5 6		<p>第4節 円運動と単振動</p> <p>①円運動 ②慣性力と遠心力 ③単振動 ④万有引力による運動</p>	<p>等速円運動をする物体の速度、角速度、加速度、向心力などの定義を理解し、それぞれを式で表すことができる。</p> <p>観測者が非慣性系にあるとき、慣性力がはたらくことを理解し、その大きさを求めることができる。</p> <p>単振動する物体にはたらく力を把握し、復元力の式を求めることができる。</p> <p>単振り子の周期を測定し、その値が単振り子の長さだけで決まることを導くことができる。</p> <p>人工衛星などの物体の円運動について運動方程式を立て、各物理量を計算で求めることができる。</p> <p>万有引力による位置エネルギーを求め、物体の力学的エネルギーを求めることができる。</p> <p>等速円運動をさせたときの水滴の飛び散る向きから、円運動における速度の向きを考えることができる。</p> <p>向心力の意味を理解し、等速円運動する物体にはたらく力を的確に図示することができる。</p> <p>観測者の立場によって生じる、運動する物体にはたらく力の違いを説明することができる。</p> <p>等速円運動と比較することによって、単振動の変位や速度などの式を導くことができる。</p> <p>単振動する物体のようすを、グラフを用いて説明することができる。</p> <p>ケプラーの法則を用いて、万有引力の法則を導いた過程について理解し、重力との関係を式で表すことができる。</p> <p>万有引力がする仕事との関係をもとに、万有引力による位置エネルギーの式を導くことができる。</p> <p>角速度、周期、回転数などの関係式を、自ら進んで導出しようとする。</p> <p>等速円運動をしている物体の、向心力と角速度との関係を主体的に調べようとしている。</p> <p>遠心力などの慣性力について、身近な例と結びつけて意欲的に考えようとする。</p> <p>単振動における変位、速度などの式を意欲的に導出しようとする。</p> <p>ケプラーの法則、万有引力の法則について学習し、万有引力と重力の関係を自ら進んで考えようとする。</p> <p>万有引力を受けて運動する物体の力学的エネルギーについて、意欲的に考えようとする。</p> <p>計算機を用いた、ケプラーの第3法則の確認実験に積極的に取り組んでいる。</p>	
--------	--	---	---	--

6		<p>第5節 気体の性質と分子の運動</p> <p>①気体の法則 ②気体の分子運動 ③気体の内部エネルギーと仕事</p>	<p>注射器と台ばかりを用いて、気体の圧力と体積の関係を調べ、ボイルの法則が成り立つことを理解する。</p> <p>ボイルの法則、シャルルの法則を用いて、ボイル・シャルルの法則を導くことができる。</p> <p>気体に関する法則や気体の状態方程式を用いて、計算することができる。</p> <p>分子の運動をもとにして、気体の圧力を導出する。</p> <p>水を入れた小型ポットを激しく振って水温を上昇させることで、気体の内部エネルギーと温度の関係を調べる。</p> <p>気体の状態変化に熱力学の第1法則を適用し、エネルギーの出入りを考えることができる。</p> <p>熱機関の熱効率を計算で求めることができる。</p> <p>気体の圧力が生じる原因を把握し、気体に関する各法則を考えることができる。</p> <p>気体の状態方程式を用いて、さまざまな条件における気体の状態を考えることができる。</p> <p>運動量と力積の関係を用いて、気体分子の運動をもとに、気体の圧力を導くことができる。</p> <p>気体の状態変化について、p-V グラフからの的確に読み取ることができる。</p> <p>気体の状態変化について、その変化の違いを熱力学の第1法則を用いて説明することができる。</p> <p>熱力学の第1法則や、気体の状態方程式を用いて、定積モル比熱や定圧モル比熱を考えることができる。</p> <p>熱機関のしくみを理解し、熱効率を考えることができる。</p> <p>ボイル・シャルルの法則を利用して、気体の状態方程式を導出する過程を理解しようとする。</p> <p>日常での経験と照らし合わせて気体の圧力と体積、温度の関係を考え、物理学的に理解しようとしている。</p> <p>気体の分子運動と圧力との間にどのような関係があるかを予想し、主体的に導こうとしている。</p> <p>圧縮発火器の原理について、気体の状態変化におけるエネルギーの出入りと結びつけ、意欲的に考察しようとしている。</p> <p>気体の状態変化での熱効率の算出に意欲的に取り組む。</p> <p>熱機関の製作の探究などに主体的に取り組み、熱効率を上げる方法を考えようとしている。</p>	<p>小テスト レポート 課題 授業プリント 演習ノート 授業態度</p>
---	--	--	--	---

		<p>第2章 波動</p>	<p>第1節 波の性質</p> <p>①正弦波 ②波の伝わり方</p>	<p>位相が表すものを理解し、正弦波を式で表すことができる。</p> <p>重なりあった波の作図などを通して、定常波ができる条件を理解している。</p> <p>水面波の干渉の条件について、式を用いて理解する。</p> <p>水波投影装置を用いて、平面波の反射、屈折のようすを観察し、反射の法則、屈折の法則を定性的に調べることができる。</p> <p>波の回折は、すき間の大きさや波長によって違いが生じることを理解している。</p> <p>正弦波の波形と波の式を結びつけて考えることができる。</p> <p>$y-x$ グラフ、$y-t$ グラフから、振幅や周期、波長などの物理量を読み取ることができる。</p> <p>$y-x$ グラフ、$y-t$ グラフの関係と違いを理解し、一方のグラフからもう一方のグラフを描くことができる。</p> <p>ホイヘンスの原理を用いて、平面波の反射や屈折を考え、説明することができる。</p> <p>平面波の回折のしくみを考え、大きく回折する条件について説明することができる。</p> <p>「物理基礎」で学習した内容をもとに、正弦波の式を意欲的に導出しようとしている。</p> <p>身のまわりの波に関する現象に関心を持ち、物理学的な観点から自ら進んで考察しようとしている。</p> <p>ホイヘンスの原理を用いて、平面波の反射・屈折における法則性を考えようとする。</p>	<p>小テスト レポート 課題 授業プリント 演習ノート 授業態度</p>
--	--	-------------------	---	--	---

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	第2章 波動	第2節 音波 ①音の伝わり方 ②ドップラー効果	<p>第1節で学習した反射の法則や屈折の法則，波の干渉条件などを，音波に適用して理解する。</p> <p>低周波発振器を利用して，音波が干渉するようすを調べることができる。</p> <p>音源や観測者が動く場合の音波の波長や振動数の変化について，式を用いて理解する。</p> <p>音が波であることを踏まえ，反射や屈折，回折などの音波の性質を考えることができる。</p> <p>クインケ管を用いた探究などを通して，干渉のようすから音速および音波の波長を測定することができる。</p> <p>音波の伝わる速さが音源の速度に関係しないことから，ドップラー効果によって変化する波長や振動数を導出することができる。</p> <p>音が伝わるようすに関心を持ち，音波の反射・屈折・回折・干渉について考えようとする。</p> <p>クインケ管を用いた探究など，積極的に実験活動に取り組んでいる。</p> <p>小型の防犯ブザーをキャッチボールして，音の高さが変化することを積極的に確認しようとしている。</p> <p>身近な現象と結びつけてドップラー効果を理解し，波長や振動数の変化を物理学的にとらえようとする。</p>	小テスト レポート 課題 授業プリント 演習ノート 振り返りシート

10		<p>第3節 光波</p> <p>①光の性質</p> <p>②レンズと鏡</p> <p>③光の回折と干渉</p>	<p>光が波の一種であり、波長の大きさなどによって分類されることを知る。</p> <p>光の速さを把握し、反射の法則、屈折の法則の式を理解する。</p> <p>光の分散、散乱、偏光など、波としての光の性質を理解する。</p> <p>凸レンズや凹レンズ、凸面鏡や凹面鏡のそれぞれの性質を知る。</p> <p>レンズの式を理解し、実像ができる条件、虚像ができる条件など、レンズの一般的な特徴を理解する。</p> <p>球面鏡の式を理解し、実像ができる条件、虚像ができる条件など、球面鏡の一般的な特徴を理解する。</p> <p>ヤングの実験や回折格子による光の干渉など、さまざまな光の干渉条件について式を適用する。</p> <p>フイゾーの実験の原理を理解し、光速の導出方法を説明することができる。</p> <p>光が波であることを踏まえ、光の反射・屈折などの性質を考察できる。</p> <p>直方体のガラスと針を利用して、ガラスの屈折率を測定することができる。</p> <p>光の波長と屈折率の関係を理解し、光の分散、散乱などの性質を考察できる。</p> <p>凸レンズや凹レンズ、凸面鏡や凹面鏡の基本的な性質を学習し、光の進み方、像のできる条件などを説明できる。</p> <p>ヤングの実験、回折格子による光の干渉を学習し、薄膜、くさび形空気層などによる光の干渉条件を導くことができる。</p> <p>レーザーポインタと二重スリットを用いた光の干渉に関する探究などを通して、レーザー光の波長と干渉縞の間隔との関係を考察できる。</p> <p>光について関心をもち、身のまわりの事象や現象と結びつけ、波としてどのような性質をもつのかを理解しようとする。</p> <p>虹のできるしくみや、青空、夕陽の色の見え方について関心をもち、光と色の関係を考えようとする。</p> <p>レンズを通したものの見え方に興味をもち、物理学的にとらえようとしている。</p> <p>光の干渉を利用して、光の波長を求める方法について意欲的に考えようとする。</p>	<p>小テスト レポート 課題 授業プリント 演習ノート 振り返り シート</p>
中間考査				

10	<p>第3章 電気と磁気</p> <p>第1節 電場と電位</p> <p>①静電気力 ②電場 ③電位 ④コンデンサー</p>	<p>静電気力に関するクーロンの法則を理解し、さまざまな条件で電場の強さを計算できる。</p> <p>電位を計算し、等電位面と電気力線の関係を理解する。</p> <p>静電誘導、誘電分極を踏まえ、電場中の導体、不導体における電場、電位の様子を理解する。</p> <p>アルミニウム箔とプラスチック製のコップを利用してコンデンサーを作製し、コンデンサーの原理を理解する。</p> <p>コンデンサーにおける基本的な公式を理解し、さまざまな条件における電気容量やたくわえられる電荷を求めることができる。</p> <p>静電エネルギーの式の導出過程を理解し、エネルギーを求めることができる。</p> <p>静電誘導、誘電分極のしくみを説明することができる。</p> <p>カラーパウダーとサラダ油を利用した、電気力線の観察実験を通し、電気力線の性質を考察する。</p> <p>電場と電気力線の関係を理解し、帯電体に入り出す電気力線を定量的に考えることができる。</p> <p>直流電源装置と黒色画用紙を用いた探究を通して、得られた等電位線から電気力線の様子を図示することができる。</p> <p>帯電した金属板間の導体や不導体について、電場や電位の様子をグラフに表すことができる。</p> <p>コンデンサーにたくわえられる電気量と、極板の面積、極板間の距離との関係を導くことができる。</p> <p>コンデンサーの極板間の電場や電位差など、各量について、誘電体による変化を考察できる。</p> <p>「物理基礎」で学習した内容を踏まえ、静電気力、電場、電気力線の性質について意欲的に考えようとする。</p> <p>電場や電位の関係、等電位面と電気力線の関係、静電誘導、誘電分極の現象などを自ら進んで理解しようとする。</p> <p>【主】コンデンサーの製作に主体的に取り組み、コンデンサーの原理や、誘電体によって変化するコンデンサーの電気容量などについて、自ら進んで考えようとしている。</p> <p>【主】電池のする仕事と静電エネルギーの関係について、意欲的に考える。</p>	<p>小テスト レポート 課題 授業プリント 演習ノート 振り返りシート</p>
----	--	---	--

11		<p>第3節 電流と磁場</p> <p>①磁場</p> <p>②電流がつくる磁場</p> <p>③電流が磁場から受ける力</p> <p>④ローレンツ力</p>	<p>磁極間にはたらく磁気力の大きさ、電流のまわりに生じる磁場の強さを計算できる。</p> <p>電流が磁場から受ける力の向きを、フレミングの左手の法則などを用いて考えることができる。</p> <p>磁場中で電流が受ける力の大きさを求めることができる。</p> <p>磁束密度と磁場の関係を定量的に把握し、磁化の性質を理解する。</p> <p>電流どうしがおよぼしあう力の向きや大きさを求めることができる。</p> <p>荷電粒子にはたらくローレンツ力の大きさや向きを理解する。</p> <p>磁極や電流のまわりにできる磁場について、右ねじの法則をもとにして考えることができる。</p> <p>電気ブランコの観察において、電流が磁場から受ける力の向きを調べることができる。</p> <p>電流間で力が生じることを、右ねじの法則などを用いて理解する。</p> <p>ローレンツ力の性質をもとに、荷電粒子の運動を考えることができる。</p> <p>ローレンツ力の性質を把握することで、金属中の電子の運動をもとにホール効果について考察できる。</p> <p>電場との対比から、磁場の性質を学習し、「物理基礎」で学習した内容を踏まえ、電流のまわりにできる磁場について意欲的に考える。</p> <p>電流が磁場から受ける力の向きや大きさ、磁束密度や磁場の関係を意欲的に理解しようとする。</p> <p>平行電流間がおよぼしあう力の大きさを自ら進んで導出しようとする。</p> <p>磁場中の荷電粒子の運動について意欲的に考察しようとする。</p> <p>ホール効果の現象を、電子の動きに着目して理解しようとする。</p>	<p>小テスト レポート 課題 授業プリント 演習ノート 振り返りシート</p>
----	--	---	---	--

11 12		<p>第4節 電磁誘導と交流</p> <p>①電磁誘導</p> <p>②自己誘導と相互誘導</p> <p>③交流</p> <p>④電磁波</p>	<p>さまざまな電磁誘導の現象において、誘導起電力の大きさと向きを考慮することができる。</p> <p>磁場中を動く導体に生じる起電力や、導体を動かすのに要する力を計算することができる。</p> <p>ネオジム磁石でつくった振り子を用いて、渦電流について調べ、材質による違いを知る。</p> <p>電磁誘導のしくみを理解し、自己誘導、相互誘導での起電力の向きや大きさを導くことができる。</p> <p>交流が発生するしくみを理解し、抵抗、コイル、コンデンサーの交流の性質を定量的に理解する。</p> <p>電気振動のエネルギーの移り変わりについて、式で表すことができる。</p> <p>磁場と電場の関係を把握し、電磁波の発生と結びつけて理解する。</p> <p>コイルに棒磁石を近づけたり、遠ざけたりする実験の結果から、ファラデーの電磁誘導の法則を見出して理解する。</p> <p>コイルにたくわえられるエネルギーの式を導出することができる。</p> <p>コイルを貫く磁束の変化から、交流の発生を考慮することができる。</p> <p>抵抗、コイルなどに生じる交流電圧、電流の関係を、キルヒホッフの法則を用いて考えることができる。</p> <p>電気振動において、固有振動数やエネルギーのやりとりを考察できる。</p> <p>ゲルマニウムラジオを製作する探究などに取り組み、共振回路について考察する。</p> <p>電磁波の性質から、利用されている身近なものを考える。</p> <p>「物理基礎」で学習した内容を踏まえ、実験に主体的に取り組む、電磁誘導の法則を理解しようとする。</p> <p>自己誘導や相互誘導の現象の学習に意欲的に取り組む。</p> <p>交流が発生するしくみに関心をもち、抵抗、コイル、コンデンサーの特性を考えようとする。</p> <p>直列共振回路の性質や電気振動の現象を意欲的に理解しようとする。</p> <p>「物理基礎」で学習した内容を踏まえ、身のまわりで利用されている電磁波と照らし合わせながら、電磁波の種類と性質を自ら進んで考えようとする。</p>	<p>小テスト レポート 課題 授業プリント 演習ノート 振り返りシート</p>
----------	--	--	---	--

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第4章 原子	第1節 電子と光 ①電子 ②光の粒子性 ③X線 ④粒子の波動性	<p>電子の性質が解明されるまでの研究について、定量的に理解する。</p> <p>箔検電器と亜鉛板を利用して、亜鉛板に紫外線を照射することで、光電効果を調べることができる。</p> <p>光電効果の特徴やその実験過程を理解し、仕事関数や光電子の最大運動エネルギーを計算できる。</p> <p>X線の最短波長を計算し、ブラッグの反射条件の式を理解して、適用することができる。</p> <p>コンプトン効果において、入射X線と散乱X線の波長の差を示す式を導出できる。</p> <p>物質波の意味を理解し、その波長や運動量の関係式を理解する。</p> <p>トムソンやミリカンの実験について、電場や磁場の関係式を適用し、電子の運動を説明できる。</p> <p>光電効果における光の強さと光電子の数、振動数と運動エネルギーなどの関係を考察できる。</p> <p>光電効果の実験結果を、アインシュタインの提唱した光量子仮説から説明できる。</p> <p>発光ダイオードを利用した探究などを通して、プランク定数を測定できる。</p> <p>X線の波動性や粒子性を示す実験を理解し、結論を導くまでの過程を式を用いて考えることができる。</p> <p>物質粒子の質量と波長などの関係式を用いて、さまざまな物質波の波長を考えることができる。</p> <p>これまでに学習した荷電粒子の運動をもとに、トムソンやミリカンの実験のしくみを考え、式を用いて理解しようとしている。</p> <p>光電効果の特徴について、その実験過程から意欲的に意味を理解しようとする。</p> <p>レントゲン写真などの身近なもの結びつけて、X線の性質を考えようとする。</p> <p>これまでに学習した法則をもとに、コンプトン効果でのX線光子、電子の運動を意欲的に考えようとする。</p> <p>光やX線がもつ粒子性を、電子のような粒子の波動性に結びつけて考えようとする。</p>	小テスト レポート 課題 授業プリント 演習ノート 振り返りシート

1		<p>第2節 原子と原子核</p> <p>①原子の構造 ②原子核と放射線 ③核反応とエネルギー ④素粒子と宇宙</p>	<p>ボーアの原子模型の特徴を理解し、水素原子の電子軌道や、エネルギー準位とスペクトルとの関係について理解する。</p> <p>分光器を用いて、さまざまな光源から発せられる光を観察し、光源によるスペクトルの違いを知る。</p> <p>統一原子質量単位を理解し、さまざまな原子の原子量を計算できる。</p> <p>質量欠損や結合エネルギー、核反応で出入りするエネルギーをそれぞれ計算で求めることができる。</p> <p>素粒子の分類を理解し、クォークやレプトンの特徴を把握する。</p> <p>自然界における基本的な力の種類と性質について知る。</p> <p>ボーアの量子条件と物質波による考え方との関係を結びつけて考える。</p> <p>同位体と存在比との関係から、原子量の計算方法を考えることができる。</p>	<p>小テスト レポート 課題 授業プリント 演習ノート 振り返りシート</p>
---	--	---	--	--

3. 評価の観点

知識・技能	物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようとしている。
思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けようとしている
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けようとしている。

4. 評価の方法

<ul style="list-style-type: none"> ・知識技能 …… 定期テスト、小テスト、課題 ・思考判断表現 …… 定期テスト、小テスト、レポート、課題、振り返りシート ・主体的に学習に取り組む態度 …… 授業プリント、演習ノート、振り返りシート

5. 担当者からのメッセージ (確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

<p>授業は物理実験室で行います。主体的に予習復習・問題演習に取り組んでいきましょう。</p>

令和 8 年度 保健体育科 3年体育

1 科目について

単位数	3単位	学科・学年	3 年次
教科書		副教材等	Active Sports (大修館書店)

2 科目の目標

<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p>
--

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>【観点の到達目標】 生涯にわたって運動を豊かに実践することを目指して、主に、身に付けた技能や動き等をより高めたり、新たに得意技を身に付けたりして、攻防や動きの様相を高めて、記録や技に挑戦したり、簡易化されたルールを次第に正規に近づけるなどして試合をしたり、発表したりできる。また、運動観察の方法、伝統的な考え方、交流や発表の仕方などに加え、各領域に応じて技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方の理解をもとに運動の技能を身に付けたり、一層その理解を深めたりすることができる。</p>	<p>【観点の到達目標】 自己の課題に応じた運動の取り組み方を発展的にし、多くの運動の中から、自らに適した領域を選択し、卒業後に少なくとも一つの運動やスポーツを継続するために、自らの課題に加えて仲間やチームの課題にも視野を広げるとともに、運動を継続するために必要となる課題を解決することができる。</p>	<p>【観点の到達目標】 運動を継続することは、健康の保持増進に役立つとともに、人生を豊かにするといった運動を継続することの意義などを理解し、各領域において練習や試合、発表などに意欲を持って主体的に取り組める。学習への責任や参画への意欲といったものを土台とし、仲間やチームに対して、役割を積極的に引き受けたり、話し合いを通して合意形成に貢献しようとしていたりするなど主体的に取り組める。</p>
<p>【イチカシ学カスタンダード】 生涯にわたって運動を豊かに実践することを目指すことについて、身に付けた動きを高めたり、新たに得意技を身に付けて、攻防や動きができる。また、記録や技に挑戦したり、簡易化されたルール制限を次第に正規に近づけるなどして試合をしたり、発表したりする動きができる。運動の技能を身に付けることについて、経験に基づく知恵などの暗黙知も含め、一層その理解を深めたりするなど、知識と技能を関連させて言ったり書き出したりしている。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 選択した運動の中から、卒業後に少なくとも一つの運動やスポーツを継続することについて、自らの課題に加えて仲間やチームの課題にも視野を広げるとともに、運動を継続するために必要な課題を見付けている。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争や攻防、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。</p>
<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析</p>	<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析</p>	<p>【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p>

・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C
--	--	--------------------------------------

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	ガイダンス 体育理論 体づくり運動	【知・技】 学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。(行動観察・ワークシート分析) 運動の特性に応じて、ゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身につけている。(行動観察・スキルテスト・ワークシート分析) 【思・判・表】 学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。(ワークシート分析) 【主】 学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。(行動観察)	(行動観察・ワークシート分析)
5 ～ 1	種目選択 (バスケボール・バレーボール・ソフトボール・サッカー・テニス・パドミントン・卓球)	【知・技】 学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。(行動観察・ワークシート分析) 運動の特性に応じて、ゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身につけている。(行動観察・スキルテスト・ワークシート分析) 【思・判・表】 学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。(ワークシート分析) 【主】 学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。(行動観察)	(行動観察・ワークシート分析・スキルテスト)

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。

・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず、仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

令和 8 年度 保健体育 スポーツⅡ

1 科目について

単位数	2単位	学科・学年	2・3年次
教科書	副教材等		Active Sports（大修館書店）

2 科目の目標

球技の特性についての理解と課題の解決を目指した計画的な運動の実践を通して、これらのスポーツの高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、技能を發揮してゲームをすることができる資質や能力を育てる。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>【観点の到達目標】 自己の能力を最大限に發揮し専門的な技や技能、戦術を習得する。競技についての成り立ちや変遷などの歴史や現在のルール、技術の公正及び技能の高め方、技術分析、初心者への指導法、採点法や審判法、競技会の開催のしかたやその際の役割分担などについて科学的、社会的、文化的な側面からの教養を身につけている。</p>	<p>【観点の到達目標】 生涯にわたってスポーツを豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。</p>	<p>【観点の到達目標】 生涯にわたってスポーツを豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。</p>
<p>【イチカシ学カスタンダード】 技術や競争における作戦・技・技能や泳法の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、運動の観察や動作の分析のしかたなどを理解できる。生涯にわたって運動を豊かに実践することを目指すことについて、身に付けた動きを高めたり、新たに得意技を身に付けて、攻防や動きができる。また、記録や技に挑戦したり、簡易化されたルール制限を次第に正規に近づけるなどして試合をしたり、発表したりする動きができる。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、スポーツの振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。</p>
<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p> <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p> <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p> <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 月 から 3 月	サッカー	<p>学習内容(1学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・基本練習 <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の意義や内容、評価の方法について理解する。【知・技】 ・サッカーのルールや用語を理解する。【知・技】 ・ボールの操作や安定した身体の使い方を身につけること。【知・技】 ・正しいフォームで行う知識を身につける。【思・判・表】 <p>学習内容(2学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用動作 ・簡易ゲーム <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本動作をチームでの攻防の際に実践する。【知・技】 ・シュートパスやロングパスを使ったオープン攻撃や中央突破の攻撃、スリーバック型やフォーバック型での防御ができるようにする。【思・判・表】 <p>学習内容(3学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用動作 ・試合形式 <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技のすすめ方や、競技規則を正しく理解する。【知・技】 ・審判法を理解し、正しく試合を運営できる。【思・判・表】 	<p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p> <p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p> <p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p>
4 月 から 3 月	ソフトボール	<p>学習内容(1学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・基本動作 <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の意義や内容、評価の方法について理解する。【知・技】 ・競技のルールや用語を理解する。【知・技】 ・グローブやバットの操作、安定した用具の使い方を身につけること。【知・技】 ・正しいフォームで行う知識を身につける【思・判・表】 <p>学習内容(2学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用練習 ・簡易ゲーム <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人やチームの長を活かして作戦を立て、実践の場面を想定しながらの練習を行う。【思・判・表】 <p>学習内容(3学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用動作 ・試合形式 <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技のすすめ方や、競技規則を正しく理解する。【知・技】 ・審判法を理解し、試合を適切に運営すること。【思・判・表】 	<p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p> <p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p> <p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p>

4 月 か ら 3 月	バスケットボール	<p>学習内容(1学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・基本動作 <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の意義や内容、評価の方法について理解する。【知・技】 ・バスケットボールのルールや用語を理解する。【知・技】 ・ボール操作やパスやドリブルの正しい動作を身につけること。【知・技】 ・レイアップシュートを左右正しく出来ることを身につけ、セットシュートを正しいフォームでおこなう知識を身につけておこなうようにする。【思・判・表】 <p>学習内容(2学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用練習 ・簡易ゲーム <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な動作をもとに、場面に応じた技能を選択し実施すること。【思・判・表】 ・1対1に必要なボールのもらい方を理解して、1対1の技能を身につけること。【知・技】 ・アウトナンバーの攻め方を身につけること。【知・技】 ・1対1から5対5までをオールコートで簡易ゲームをおこない、フロアバランスやスペース、シュートセレクトを考えながら、技能を身につけること。【思・判・表】 <p>学習内容(3学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用動作 ・試合形式 <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な動作をもとに、場面に応じた技能を選択し実施すること。【知・技】 ・チームの作戦を立て、マンツーマンディフェンスとゾーンディフェンスのやり方を理解する。【思・判・表】 <p>・ルールを正しく理解し、公正・安全に試合を運営すること。【知・技】</p>	<p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p> <p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p> <p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p>
4 月 か ら 3 月	バレーボール	<p>学習内容(1学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・基本動作 <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の意義や内容、評価の方法について理解する。【知・技】 ・バレーボールのルールや用語を理解する。【知・技】 ・ボール操作やパス、サーブ、スパイクなどの正しい動作を身につけること。【知・技】 ・正しいフォームでおこなう知識を身につける。【思・判・表】 <p>学習内容(2学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用練習 ・簡易ゲーム <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本動作をフォーメーションの中で実践する。【思・判・表】 サーブレシーブフォーメーション アタックレシーブフォーメーション ブロックフォローフォーメーション アタックコンビネーションフォロー <p>学習内容(3学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用動作 ・試合形式 <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技のすすめ方や、競技規則を正しく理解する。【知・技】 ・審判法を理解し、正しく試合を運営できる。【思・判・表】 	<p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p> <p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p> <p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p>

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

- ・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。
- ・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず、仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

(守ってほしい事項)

- ・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけるこ

と。

・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。(見学者も体操服を着用すること)

・貴重品の管理をしっかりと行うこと。

令和 8 年度 保健体育 スポーツ概論(3 年スポーツコース)

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	3 年次
教科書		副教材等	Active Sports (大修館書店)

2 科目の目標

<p>スポーツについての総合的な理解を通して、その知識を運動の主体的、合理的、計画的な実践に活用できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。</p>

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>【観点の到達目標】 健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康、生涯を通じる健康及び社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。</p>	<p>【観点の到達目標】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的にとらえることにより、適切な意思決定をおこない、選択すべき行動を適切に判断している。</p>	<p>【観点の到達目標】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとしている。</p>
<p>【イチカシ学カスタンダード】 運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項及び生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解している。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的・応用的な事項を理解している。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の価値に応じた運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫している。 また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断し、それらを表している。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的・計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。 また、個人生活及び社会生活における健康・安全について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。</p>
<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 など</p>	<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 など</p>	<p>【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 など</p>

4 3観点を組み合わせた評価の方法

<p>知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から基準に従い、総合的に評価する。</p>
--

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	運動障害とその予防	<p>【知・技】 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。</p>	<p>・発言・発表などの行動観察 ・定期考査</p>
5		<p>【思・判・表】 ・学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。</p>	
6		<p>【主】 ・学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</p>	
7			

9 10 11 12	運動による障害とその予防"	【知・技】 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】 ・学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】 ・学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・ワークシートや保健ノート ・発言・発表などの行動観察
1 2 3	運動を安全に行うための理論"	【知・技】 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】 ・学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】 ・学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・発言・発表などの行動観察 ・ワークシートや保健ノート

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

授業で教科担当の「説明を聞いたり」「板書を書き留めたりする」だけでなく、積極的に自分自身の生活を振り返り、健康の保持増進を図るための課題を見つけることが大切です。さらには、学習した内容をもとに、自分や集団の課題を解決する方法を見つけ出すことも求められています。教科書と学習ノート(プリント)を中心に学習を進めます。学習の流れに乗りおけないよう積極的に活動することが大切です。

(守ってほしい事項)

教科書や学習ノートは毎時間必ず準備してください。

授業チャイムと同時に始めますので、休み時間中に教科書及び学習ノートを準備しておき、チャイムと同時に着席を完了してください。

欠席した場合は、友人のノートを参考にするか担当者に申し出てノートの整理をしてください。

令和 8 年度 体育科 専攻実技

1 科目について

単位数	スポ科・2単位 普通科体育コ・1単位	学科・学年	スポーツ科学科 1～3 年次 普通科体育コース 2・3年次
教科書		副教材等	Active Sports (大修館書店)

2 科目の目標

球技の特性や測定競技の特性、また武道等の特性について、理解と課題の解決を目指した計画的な運動の実践を通して、これらのスポーツの高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、技能を発揮して競技をすることができる資質や能力を育てる。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 自己の能力を最大限に発揮し専門的な技や技能、戦術を習得する。	【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。	【観点の到達目標】 競技についての成り立ちや変遷などの歴史や現在のルール、技術の公正及び技能の高め方、技術分析、初心者への指導法、採点法や審判法、競技会の開催のしかたやその際の役割分担などについて科学的、社会的、文化的な側面からの教養を身につけている。
【イチカシ学カスタンダード】 技術や競争における作戦・技・技能や泳法の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、運動の観察や動作の分析のしかたなどを理解できる。	【イチカシ学カスタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、スポーツの振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。	【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4月 ～ 7月	専攻実技 【野球】 【サッカー】 【バスケットボール】 【バレーボール】 【陸上競技】 (長距離) 【柔道】	【知・技】学習の意義や内容、評価の方法について理解する。 疲労の意味とコンディショニングの必要性を理解する。 【思・判・表】野球、サッカー、バスケットボール、バレーボール、陸上競技(長距離)、柔道、剣道の各種目より、各自が専攻している競技(種目)に取り組む。 【主】基礎体力及び柔軟性を高めること。・チームや各自の運動課題を確認し、互いに協力し合って、計画的、自主的に練習に取り組むこと。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察
9月 ～ 12月	【剣道】 【その他の種目】 ・ガイダンス ・基本練習 ・応用練習	【知・技】各競技の進め方や競技規則を正しく理解する。 疲労の意味とコンディショニングの必要性を理解する。 【思・判・表】各競技における基礎技術を習得する。総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認すること。総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認する。 【主】チームや各自の運動課題を確認し、互いに協力し合って、計画的、自主的に練習に取り組むこと。高度な技術に挑戦し、習得を目指すこと。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察
1月 ～ 3月	・総合練習 ・コンディショニング	【知・技】各競技の進め方や競技規則を正しく理解する。 基礎体力及び柔軟性を高めること。 【思・判・表】総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認すること。 総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認する。 【主】高度な技術に挑戦し、習得を目指すこと。 技術力向上に必要な基礎技術を理解し、不足している技術を各自でドリル化し、自主的に練習に取り組むこと。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<p>(アドバイス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。 ・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず、仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。 <p>(守ってほしい事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。 ・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。(見学者も体操服を着用すること) ・貴重品の管理をしっかりと行うこと。
--

令和 8 年度 保健体育科 生涯スポーツ

1 科目について

単位数	2 単位	学科・学年	普通科体育コース2・3 年次
教科書		副教材等	Active Sports (大修館書店)

2 科目の目標

<p>運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。また、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>【観点の到達目標】 自己の能力を最大限に発揮し専門的な技や技能、戦術を習得する。</p>	<p>【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。</p>	<p>【観点の到達目標】 競技についての成り立ちや変遷などの歴史や現在のルール、技術の公正及び技能の高め方、技術分析、初心者への指導法、採点法や審判法、競技会の開催のしかたやその際の役割分担などについて科学的、社会的、文化的な側面からの教養を身につけている。</p>
<p>【イチカシ学カスタンダード】 技術や競争における作戦・技・技能や泳法の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、運動の観察や動作の分析のしかたなどを理解できる。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、スポーツの振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争や攻防、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。</p>
<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p> <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p> <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p> <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 から 7	生涯スポーツ 【ゴルフ】 【バドミントン】 【卓球】 【その他種目】 ・ガイダンス ・基本練習	種目として、「ゴルフ」を取り上げ、種目の基本的な特性を理解する。 【知・技】バードゴルフ用のボールやプラスチック製のボールを利用して、ゴルフのスタンスやスイング等の動きを理解し、習得する。 【思・判・表】生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主】バードゴルフに主体的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察
9 から 12	生涯スポーツ 【ゴルフ】 【バドミントン】 【卓球】 【その他種目】 ・個人技能 ・簡易ゲーム	種目として、「ゴルフ」を取り上げ、種目の基本的な特性を理解する。 【思・判・表】運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【知・技】生涯スポーツの種目として、「ゴルフ」を取り上げ、種目の基本的な特性を理解する。バードゴルフ用のボールやプラスチック製のボールを利用して、ゴルフのスタンスやスイング等の動きを理解し、習得する。技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。 【主】運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察
1 から 3	生涯スポーツ 【ゴルフ】 【バドミントン】 【卓球】 【その他種目】 ・基礎練習 ・応用練習 ・簡易試合	種目として「バドミントン」「卓球」を取り上げ、競技の進め方や競技規則を正しく理解し、安全公正に試合を行うこと。 【知・技】技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。・ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。 【思・判・表】生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 【主】球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

- ・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。
- ・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず、仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

(守ってほしい事項)

- ・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。
- ・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。(見学者も体操服を着用すること)
- ・貴重品の管理をしっかり行うこと。

単位数	2 単位	学科・学年・学級	3 年次	
教科書	なし	副教材等		

1 科目の目標

クラフト（工芸）の意味を理解し、生活の中のデザインへの関心を高める。
デザインの発想力と表現力の向上。技術の向上。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期		・名画手拭い	・名画を選び手拭いに描く。	・名画を写していく。 ・手拭いの布をボール紙に伸ばしてはる。	・意欲的に名画を選んだか。 ・布は綺麗に張れたか。
				・布がきペン、彩色ペンで名画に近づく様に描く。	・名画をよく見て、近づこうと努力したか、また、どの位近づけたか。
第2学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期		・バックルとベルト A ・革財布 B	A か B を選択してデザインする。	A・バックルを削って B・財布の革を裁断していく。 ・バックルを磨く ・革を染める。	・どちらもそれぞれの工程を綺麗にできたか。
				A・革を染める、こば、B・革を塗っていき、表、裏を磨いていく。こば、表、裏を磨いていく。	・革の処理（こば、表、裏）は丁寧にできたか。
第3学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期		・革と真鍮によるキーホルダー	・真鍮に刻印をして革に貼りキーホルダーをつくる。	・真鍮板に名前をこく印する。 ・革に貼り付け、キーホルダーの金具に装着する。	・刻印は綺麗に打てたか。 ・仕上げは綺麗にできたか。

単位数	2	学科・学年・学級	2 年次
教科書	高校生の音楽Ⅱ(音楽 の友社) コールユーブンゲン (大阪開成館) 新曲視唱(音楽之友社)	副教材	楽典(音楽之友社)

1 科目の目標

声楽に関する学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力の育成を目指す。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4 5 6 7	ソルフェージュ	<ul style="list-style-type: none"> ・コールユーブンゲン ・新曲 ・斉唱 ・聴音 	<ul style="list-style-type: none"> ・No. 48 (ト長調) ・5 度音程 (No. 1~10) ・365 日の紙飛行機 ・旋律聴音でクラス分け ・和声聴音 (三声開離) ・No. 49~59 ・5 度音程 (No. 11~30) ・365 日の紙飛行機 ・涙そうそう, 遠くへ行きたい ・ハ長調, イ短調の旋律聴音 ・四声開離 (大譜表) ・新曲リズム 四分の四拍子 八分の六拍子, 十六分音符 ・6 度音程 (No. 1~20) ・時代 ・ヘ長調, ニ短調の旋律聴音 ・三声密集 (高音部譜表) ・No. 60~62 (転調) ・6 度音程 (No. 21~30) ・島人ぬ宝 ・ト長調, ホ短調の旋律聴音 	<ul style="list-style-type: none"> ・技能テスト
第2学期	9 10 11 12	ソルフェージュ	<ul style="list-style-type: none"> ・コールユーブンゲン ・新曲 ・斉唱 ・聴音 	<ul style="list-style-type: none"> ・No. 63~66 (転調) ・3 種の短音階 (No. 1~20) ・春よ、来い ・宇宙戦艦ヤマト ほたるこい ・四声密集 (大譜表) ・No. 67~70 ・3 種の短音階 (No. 21~30) ・7 度, 8 度音程 (No. 1~10) ・合唱曲の練習 ・変ロ長調, ト短調, ニ長調, ロ短調の旋律聴音 ・7, 8 度音程 (No. 11~30) ・合唱曲の練習 ・借用和音を含む課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・技能テスト
第3学期	1	ソルフェージュ	<ul style="list-style-type: none"> ・コールユーブンゲン ・新曲 ・斉唱 ・聴音 	<ul style="list-style-type: none"> ・総復習 ・合唱曲の練習 	<ul style="list-style-type: none"> ・技能テスト

単位数	2	学科・学年・学級	普通科・3年次
教科書	Joy of Music (教育芸術社)	副教材	自動伴奏装置

1 科目の目標

音楽に関する専門的な学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、音楽や音楽文化と創造的に関わる資質・能力の育成を目指す。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4 5	音楽の要素 音楽と感情 古典～ロマン派の曲を学ぶ。	鑑賞 器楽演奏	交響詩「ローマの松」 音楽の要素と感情の関わりを考える。 ・楽曲の文化的・歴史的背景、作曲者による表現の特徴を理解して演奏する。	・学習プリント ・器楽実技テスト
	6 7	世界の歌	歌唱表現 器楽演奏 鑑賞	「フィンランディア讃歌」 各器楽独奏曲 ・楽曲にふさわしい表現の工夫や音の重なり方について考え演奏する。 ピアノの詩人「ショパン」 ・作曲者の生涯と音楽について学ぶ。 ピアノ演奏・各器楽独奏曲 ・曲の構成、曲想を把握し表現を工夫する。	・学習プリント ・歌唱実技テスト ・器楽実技テスト
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9 10	音楽をつくろう	創作	・音楽形態の理解し、音楽の要素を知覚する。 ・和音の音を使って旋律を作る。 ・和音の特徴や理解し、音楽を形作っている要素を理解する。	・学習プリント
		世界の歌 日本の歌	歌唱表現 器楽演奏 鑑賞	「I Need To Be In Lone」 ・声部の重なりや、構造を理解する。 「日本のわらべうたつづり」 ・伝統音楽の特徴を理解して演奏する。 「序曲1812年」 ・曲想と歴史外形の関わりや音色・楽器から作曲者の意図を捉える。	・歌唱実技テスト ・器楽実技テスト ・学習プリント

	1 1 1 2	ファンファーレをつくろう	歌唱表現 創作 器楽演奏	<p>合唱曲②「光の通り道」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な表現形態、全体の調和を学ぶ。 <p>ファンファーレをつくろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演奏形態の特徴を生かした表現方法を学ぶ。 <p>つくったファンファーレを演奏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音素材を生かした演奏を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱実技テスト ・器楽実技テスト ・学習プリント
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1 2 3	日本の歌	歌唱表現	<p>「ほたるこい」</p> <p>「宇宙戦艦ヤマト」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽曲の表現内容を総合的に理解し、演奏形態の特徴と美しさの関わりを学び演奏する。 <p>コンサートを開こう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々なコンサートのテーマや演出を調べ、自分たちなりに組み立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習プリント ・歌唱実技テスト

単位数	2	学科・学年・学級	2年次・3年次 自由選択α、X
教科書	楽典(音楽之友社)	副教材	

1 科目の目標

音楽理論の学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力の育成を目指す。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4 5 6 7	五線の名称 音部記号 変化記号 異名同音 音符と拍 音程	楽典	教材 学習プリント ・五線の名称 楽譜を構成する上で必要な五線の名称について学ぶ ・音名 音楽に使われる音の高さにつけられた名称を、日本語のほか複数の多言語で学ぶ ・音部記号 さまざまな音部記号を理解する 変化記号・異名同音 変化記号・異名同音について理解する ・音符と拍 音符・休符の名称や五線への書き込み方、拍と拍子について理解する ・音程 音と音のへだたりを表す単位や完全系の度数、長短系の度数を理解する	・学習プリント ・期末テスト ・小テスト
第2学期	9 10 11 12	音階 調	楽典	教材 学習プリント ・音階と調 長音階、短音階、全24調の仕組み、同主調、平行調、属調、下属調について理解する	・学習プリント ・期末テスト ・小テスト
第3学期	1 2 3	和音 コード	楽典	4種類の三和音、セブンスコードについて理解し、演奏を行う。	・学習プリント ・期末テスト ・小テスト

令和8年度 芸術科 「絵画」シラバス

単位数	2	学科・学年・学級	3年次自由選択
教科書	光村図書 美術1・2	副教材	

1 科目の目標

絵画に関する学習を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、専門的な美術に関する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 表現形式の特性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。
- (3) 絵画表現の可能性を追求する態度を養う。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	オリエンテーション	美術って何のために学ぶの？	・美術を学ぶ意義を理解したうえで、今後の授業でどのように取り組んでいくかや、大切にしていきたいことを考える。	ワークシート
	5	絵画/表現	デッサンの準備 鉛筆の表現 デッサンの基礎 身近なもののデッサン	・デッサン用具の準備の仕方について理解する。 ・鉛筆のタッチや濃淡の表現について理解する。 ・デッサンとは何か理解する。パースや陰影の捉え方について理解する。 ・紙コップを鉛筆でデッサンする。	ワークシート 演習作品 振り返りシート
	6 7	絵画/表現 絵画/鑑賞	参考作品の鑑賞 モチーフ決め 転写 描きこみ 鑑賞会	・参考作品を鑑賞する。 ・条件に合わせてモチーフを決める。 ・デッサン紙に転写する。 ・鉛筆を使って描きこんでいく。 ・作品の鑑賞会を行う。	作品 振り返りシート まとめレポート
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	絵画/表現	アクリルガッシュの演習	・アクリルガッシュの特性や、絵筆の使い分け方について理解する。	演習作品
	10 11 12	絵画/表現 絵画/鑑賞	参考作品の鑑賞 モチーフ決め アイディアスケッチ エスキース 綿貼り 下描き 着彩 鑑賞会	・参考作品を鑑賞する。 ・条件に合わせてモチーフを決める。 ・構図や色の計画、全体の構想を練る。 ・キャンバスにおおまかにアタリを取る。 ・模造紙で綿を閉じこめて、のりで貼る。 ・鉛筆で下描きする。 ・アクリルガッシュで着彩する。 ・作品の鑑賞会を行う。	ワークシート 作品 振り返りシート まとめレポート
	1	絵画/表現 絵画/鑑賞	参考作品の鑑賞 テーマ決め アイディアスケッチ 試作 制作 授業のまとめ	・参考作品を鑑賞する。 ・条件に合わせてテーマを決める。 ・構図や色の計画、全体の構想を練る。 ・表現の方法を試す。 ・材料や用具を自分で選択し、制作する。 ・1年間のまとめを行う。	ワークシート 作品 振り返りシート まとめレポート

令和 8 年度 音楽科 「 器楽演奏法Ⅲ 」 シラバス

単位数	2	学科・学年・学級	全学科・3年次 自由選択V、W、X
教科書	副教材のみ	副教材	バイエル(全音楽譜出版) ソナチネ(全音楽譜出版)

1 科目の目標

器楽に関する学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力の育成を目指す。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4 5 6 7	器楽演奏	ピアノ	教材「バイエル」「ソナチネ」進度表に記載されている課題曲 ・運指、音の配置を理解し、基礎的な奏法を身につける ・曲の特徴を捉え、記譜されている音を正確に演奏する ・楽器を通して自己表現をする力を身につける	・実技テスト ・進度表
		器楽演奏	管弦打楽器	教材 各楽器の課題曲 ・楽器の特徴を理解し、演奏する ・曲の特徴を捉え、記譜されている音を正確に演奏する	・実技テスト
第2学期	9 10 11 12	器楽演奏	ピアノ	教材「バイエル」「ソナチネ」進度表に記載されている課題曲 ・運指、音の配置を理解し、基礎的な奏法を身につける ・曲の特徴を捉え、記譜されている音を正確に演奏する ・楽器を通して自己表現をする力を身につける	・実技テスト ・進度表
		器楽演奏	管弦打楽器	教材 自由曲 ・楽器の特徴を理解し、演奏する ・曲の特徴を捉え、記譜されている音を正確に演奏する	・実技テスト
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等

第3学期	1	器楽演奏	ピアノ	<p>教材「バイエル」「ソナチネ」進度表に記載されている課題曲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運指、音の配置を理解し、基礎的な奏法を身につける ・曲の特徴を捉え、記譜されている音を正確に演奏する ・楽器を通して自己表現をする力を身につける 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト ・進度表
		器楽演奏	管弦打楽器	<p>教材 スケール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽器の特徴を理解し、演奏する ・表現形態の特徴や表現上の効果を理解し、演奏の基礎的な能力を身につける 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト

単位数	2	学科・学年・学級	普通科・三年次
教科書		副教材	室内楽曲

1 科目の目標

音楽作品の演奏や鑑賞の学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力の育成を目指す。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4 5 6 7	企画運営 演奏会構成	企画構成 器楽演奏 (室内楽・合奏)	コンサートの裏側を知り、企画する。 ・コンサートスタッフを知る。 ・コンサートを企画する。 演奏会プログラムを構成する。 ・趣旨に合ったプログラムを構成する。 ・必要な楽譜の準備の仕方、著作権について知る アンサンブルに取り組む。 ・編成にあったアンサンブルを構成する。 ・編成に伴う移調やアレンジ方法を学ぶ。	・学習プリント ・実技テスト
第2学期	9 10 11 12	演出構成	器楽演奏 (合奏・室内楽) 企画運営 演奏会構成	1学期から継続した楽曲 ・衣装の選定準備をする。 音楽に合わせた動き ・リズム、曲想などを理解し表現を工夫する。 ・楽曲の時代を知る。 ・作曲者について知る。 ・楽曲の社会的背景について知る。 ・衣装の選定準備 ・構成 コンサート事務に取り組む ・演出の組み立て ・チラシの作成発注 ・プログラムの作成、印刷 ・運営スタッフの準備	・学習プリント ・実技テスト
第3学期	1	コンサート運営	器楽演奏	コンサートリハーサル	コンサートでの取り組み

令和 8 年度 芸術科 「書道Ⅲ」シラバス

単位数	2	学科・学年・学級	第3学年
教科書	書道Ⅲ（東京書籍）	副教材	

1 科目の目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身に付けるようにする。

(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。

(3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書の伝統と文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	漢字の書	・漢字の書の成立と変遷	・漢字の書体の特徴と変遷について理解する。	活動の様子 意見発表 ワークシート 作品
	5		・古典に学ぼう ①九成宮醴泉銘 ②蘭亭序 ③曹全碑	・古典の臨書学習により、基本的な点画や線質の表し方、用筆法・運筆法を学ぶ。 ・作品ごとの用筆と字形の特徴を理解し臨書する。 ・それぞれの表現の違いを理解し、その特徴を時代背景や人物を通して鑑賞する。 ・主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組む。	
	6	漢字の書	・刻字作品を作ろう	・刻字の手順を理解し、構想を練り、制作する。 ・表現したいイメージを古典から見つけ、構成などの表現方法を工夫しながら制作する。 ・各自の作品について、制作の意図を発表し、鑑賞しあう。	
7					
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	漢字の書	・篆書 ・篆刻を楽しむ	・篆書の種類や成立過程を理解する。 ・篆刻の用具・用材や創作の手順について理解し、構想を練り、創作につなげる。	活動の様子 意見発表 ワークシート 作品
	10				
	11	漢字の書	・創作をしよう ①半切作品 ②書初め	・創作の手順を理解し、作品の構想を練る。 ・表現したいイメージを古典から見つけ、構成などの表現方法を工夫しながら臨書する。 ・年始の書初めにふさわしい語句で作品を仕上げる。 ・表現したいイメージを古典から見つけ、構成などの表現方法を工夫しながら制作す	

	12			る。 ・各自の作品について、制作の意図を發表し、鑑賞しあう。	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	漢字仮名交じりの書	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字仮名交じりの書の名筆を鑑賞しよう ・創作しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字仮名交じりの書を鑑賞し、感じたことを話し合い、自らの鑑賞力を深める。 ・創作の手順を理解し、作品の構成を練る。 ・構成などの表現方法を工夫しながら制作する。 ・各自の作品について制作の意図を發表し、鑑賞しあう。 ・生活や社会における書の効用について考え、書によさや美しさを味わって捉える。 	活動の様子 意見發表 ワークシート 作品

令和 8 年度 芸術科 「書表現」シラバス

単位数	2	学科・学年・学級	第3学年
教科書	書道 I (東京書籍)	副教材	

1 科目の目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身に付けるようにする。

(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。

(3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書の伝統と文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	漢字の書	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の書の成立と変遷 古典に学ぼう ①九成宮醴泉銘 ②蘭亭序 ③曹全碑 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の書体の特徴と変遷について理解する。 古典の臨書学習により、基本的な点画や線質の表し方、用筆法・運筆法を学ぶ。 作品ごとの用筆と字形の特徴を理解し臨書する。 それぞれの表現の違いを理解し、その特徴を時代背景や人物を通して鑑賞する。 主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組む。 	活動の様子 意見発表 ワークシート 作品
	5				
	6	漢字の書	<ul style="list-style-type: none"> 刻字作品を作ろう 	<ul style="list-style-type: none"> 刻字の手順を理解し、構想を練り、制作する。 表現したいイメージを古典から見つけ、構成などの表現方法を工夫しながら制作する。 各自の作品について、制作の意図を発表し、鑑賞しあう。 	
7					
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	漢字の書	<ul style="list-style-type: none"> 篆書 篆刻を楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> 篆書の種類や成立過程を理解する。 篆刻の用具・用材や創作の手順について理解し、構想を練り、創作につなげる。 	活動の様子 意見発表 ワークシート 作品
	10				
	11	漢字の書	<ul style="list-style-type: none"> 創作をしよう ①半切作品 ②書初め 	<ul style="list-style-type: none"> 創作の手順を理解し、作品の構想を練る。 表現したいイメージを古典から見つけ、構成などの表現方法を工夫しながら臨書する。 年始の書初めにふさわしい語句で作品を仕上げる。 表現したいイメージを古典から見つけ、構成などの表現方法を工夫しながら制作す 	

	12			る。 ・各自の作品について、制作の意図を發表し、鑑賞しあう。	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	漢字仮名交じりの書	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字仮名交じりの書の名筆を鑑賞しよう ・創作しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字仮名交じりの書を鑑賞し、感じたことを話し合い、自らの鑑賞力を深める。 ・創作の手順を理解し、作品の構成を練る。 ・構成などの表現方法を工夫しながら制作する。 ・各自の作品について制作の意図を發表し、鑑賞しあう。 ・生活や社会における書の効用について考え、書によさや美しさを味わって捉える。 	活動の様子 意見發表 ワークシート 作品

令和8年度 「英語コミュニケーションⅢ」 シラバス

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4単位
学科・学年	普通科 第3年次A～I組	教材・副教材	共通：Landmark Fit English Communication Ⅲ（啓林館） チャンクで英単語 Standard（三省堂） A、B組：FACTBOOK English Grammar（桐原書店） チャンクで英単語 Advanced（三省堂） C～I組：ブレッグ・イングリッシュ・高校英語の基礎づくり（旺文社）		

1. 科目の目標

科目の目標	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。</p> <p>具体的な活動・領域は以下の通り。</p> <p>(1) 聞くこと 日常的・社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができるようにする。</p> <p>(2) 読むこと 日常的・社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 話すこと [やり取り] 日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けたり、課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合ったりすることができるようにする。</p> <p>(4) 話すこと [発表] 日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>(5) 書くこと 日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落から成る文章で、論理的に詳しく書いて伝えることができるようにする。</p>				
評価の観点 (科目全体)	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
知識・技能	<p>[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について話された文等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。</p>	<p>[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた文等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。</p>	<p>[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理的に詳しく話して伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理的に詳しく話して伝える技能を身に付けている。</p>	<p>[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝える技能を身に付けている。</p>
思考・判断・表現	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図、概要、要点、詳細を捉えてい</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図、概要、要点、詳細を捉えて</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、課題の解決策な</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書い</p>

	る。	いる。	どを論理的に詳しく話して伝え合ったりしている。		て伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で話されることを聞こうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で書かれたことを読もうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて伝え合おうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて話そうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて書こうとしている。

2. 学習計画

月	育成する資質能力 (CAN-DO 記述)	学習項目	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法)	
					聞	読	取	発	書			
1 学期	4	<p>(1) 聞くこと 野菜の栽培や地域の活動について、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図、概要や要点などを把握することができる。</p> <p>(2) 読むこと イギリスの小さな町の町おこしについて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開、概要や要点などを把握することができる。</p> <p>(3) 話すこと [やり取り] 野菜・果物の栽培や本文の内容について、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。</p> <p>(4) 話すこと [発表・やり取り] 関心のある地域の活動について、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理性に注意して詳しく話して伝えたり、伝え合ったりすることができる。</p> <p>(5) 書くこと 関心のある地域の活動について、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理性に注意して詳しく書いて伝えることができる。</p>	<p>【Lesson 1 Incredible Edible】 イギリスの小さな町を有名にした町おこし</p> <p>・読解</p>	<p>〈聞くこと〉野菜の栽培や地域の活動についての会話を聞いて、必要な情報を聞き取り、概要や要点を捉える。</p> <p>〈読むこと〉イギリスの小さな町の町おこしについて書かれた文章を読んで、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図、概要、要点、詳細を捉える。</p> <p>〈話すこと [やり取り]〉野菜・果物の栽培や本文の内容について、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。</p> <p>〈話すこと [発表・やり取り]〉関心のある地域の活動について、情報や考えなどを論理的に詳しく話して伝えたり、伝え合ったりする。</p> <p>〈書くこと〉関心のある地域の活動について、情報や考えなどを、複数のパラグラフから成る文章で論理的に詳しく書いて伝える。</p>	知	○	○	○	○	○	15	<ul style="list-style-type: none"> ○定期考査 ・リスニング ・リーディング ・ライティング ・文法、語句 ○パフォーマンス ・ポケットスピーキング ・エッセイライティング ○小テスト ・単語テスト ・単元テスト ○課題 ・ワークシート ・ワークブック
					思	○	○	○	○	○		
					態	○	○	○	○	○		
1 学期	5	<p>(1) 聞くこと 血液型性格診断や献血について、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図、概要や要点などを把握することができる。</p> <p>(2) 読むこと チャールズ・ドルー医師について、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開、概要や要点などを把握することができる。</p> <p>(3) 話すこと [やり取り] 血液型性格診断や本文の内容について、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。</p> <p>(4) 話すこと [発表・やり取り] 自身の献血について、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理性に注意して詳しく話して伝えたり、伝え合ったりすることができる。</p> <p>(5) 書くこと 自身の献血について、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理性に注意して詳しく書いて伝えることができる。</p>	<p>【Lesson 2 Blood Is Blood】 輸血技術の向上に貢献した黒人医師</p> <p>・読解</p>	<p>〈聞くこと〉血液型性格診断や献血についての会話を聞いて、必要な情報を聞き取り、概要や要点を捉える。</p> <p>〈読むこと〉チャールズ・ドルー医師について書かれた文章を読んで、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図、概要、要点、詳細を捉える。</p> <p>〈話すこと [やり取り]〉血液型性格診断や本文の内容について、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。</p> <p>〈話すこと [発表・やり取り]〉自身の献血について、情報や考えなどを論理的に詳しく話して伝えたり、伝え合ったりする。</p> <p>〈書くこと〉自身の献血について、情報や考えなどを、複数のパラグラフから成る文章で論理的に詳しく書いて伝える。</p>	知	○	○	○	○	○	15	<ul style="list-style-type: none"> ○定期考査 ・リスニング ・リーディング ・ライティング ・文法、語句 ○パフォーマンス ・ポケットスピーキング ・エッセイライティング ○小テスト ・単語テスト ・単元テスト ○課題 ・ワークシート ・ワークブック
					思	○	○	○	○	○		
					態	○	○	○	○	○		
	中間考査											
	<p>〈聞くこと〉クラスメートのディスカッションを聞いて、概要や要点を捉えることができる。</p> <p>〈読むこと〉スマートフォンについてのディスカッションを読んで、概要や要点を捉えることができる。</p> <p>〈話すこと [やり取り]〉選択したトピックについて、情報や考えなどを論理的に詳しく話して伝え合うことができる。</p>	Lesson for Discussion ディスカッションをしよう！	<p>〈聞くこと〉クラスメートのディスカッションを聞いて、概要や要点を捉える。</p> <p>〈読むこと〉スマートフォンについてのディスカッションを読んで、概要や要点を捉える。</p> <p>〈話すこと [やり取り]〉選択したトピックについて、情報や考えなどを論理的に詳しく話して</p>	知	○	○	○	○	○	15	<ul style="list-style-type: none"> ○定期考査 ・リスニング ・リーディング ・ライティング ・文法、語句 ○パフォーマンス ・ポケットスピーキング ・エッセイライティング ○小テスト ・単語テスト ・単元テスト ○課題 ・ワークシート ・ワークブック 	
思	○	○	○	○	○							
態	○	○	○	○	○							

令和8年度 「エッセイライティングⅠ」 シラバス

教科	外国語	科目	エッセイライティングⅠ	単位数	2
学級	選択3年V, W	教材・副教材	パターンで書ける！FRAME 自由英作文 (数研出版)		

1 科目の目標

日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数のパラグラフから成る文章で、論理的に詳しく書いて伝えることができるようにする。

2 学習計画

学期	月	育成する資質能力 (CAN-DO 記述)	学習項目	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価の材料・方法等)
						聞	読	取	発	書		
第1学期	4	1. 読んだり聞いたことについてキーワードなどをもとに要約や感想を書くことができる。 2. 自分の意見について、理由や例などと共に、適切な段落を伴った文章を書くことができる。 3. 主語と述語の整合性や、時制に注意しながら、文章を書くことができる。 4. 同じ単語や表現を繰り返し使わずに、多様な語彙を用いて文章を書くことができる。	Unit1,2	【知・技】アウトラインの決め方を理解する。 【思・判・表】エッセイを書く際に、プレインストーミングの内容をもとにエッセイのアウトラインを決定する。 【主】アウトラインの決め方について、情報や考えなどを詳しく話してお互いの意見を交換し合う。	知					○	3	ワークシート 自己評価 ペアワークへの取り組み
	5		Unit3		思					○		
					態							
		中間考査										
第2学期	6	1. 読んだり聞いたことについてキーワードなどをもとに要約や感想を書くことができる。 2. 自分の意見について、理由や例などと共に、適切な段落を伴った文章を書くことができる。 3. 主語と述語の整合性や、時制に注意しながら、文章を書くことができる。 4. 同じ単語や表現を繰り返し使わずに、多様な語彙を用いて文章を書くことができる。	Unit4	【知・技】イントロ・パラグラフの役割を理解する。 【思・判・表】エッセイを書く際に、イントロ・パラグラフから書き出す。 【主】イントロ・パラグラフについて、情報や考えなどを詳しく話してお互いの意見を交換し合う。	知					○	3	ワークシート 自己評価 ペアワークへの取り組み
	7				思					○		
					態							
		期末考査・答案指導										
第2学期	9	1. 読んだり聞いたことについてキーワードなどをもとに要約や感想を書くことができる。 2. 自分の意見について、理由や例などと共に、適切な段落を伴った文章を書くことができる。 3. 主語と述語の整合性や、時制に注意しながら、文章を書くことができる。 4. 同じ単語や表現を繰り返し使	Unit5,6	【知・技】コンクルーディング・パラグラフの役割を理解する。 【思・判・表】エッセイを書き終える際に、コンクルーディング・パラグラフで締める。 【主】コンクルーディング・パラグラフについて、情報や考えなどを詳しく話してお互いの意見を交換し合う。	知					○	3	ワークシート 自己評価 ペアワークへの取り組み
	10				思					○		
					態							

令和8年度 「ディベートディスカッションⅡ」 シラバス

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅱ	単位数	2
学級	3A	教材・副教材			

1 科目の目標

社会的な話題に関する論題について、使用する語句や文、議論の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、複数の資料を的確に活用し、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて効果的に用いて、賛成又は反対の立場をとった上で、聞き手を説得することができるよう、論理的に一貫性のある議論をすることができる資質・能力を養う。

2 学習計画

第1学期学習指導計画											
月	育成する資質能力 (CAN-DO 記述)	学習項目	学習内容や学習活動 (言語活動・ICT等)	評価 の 観 点	領域					評価 項 目 数	主な評価規準 (評価の材料・方法等)
					聞	読	取	発	書		
4 5	・身近な話題について話すことができる。 ・自分の好きなことや考えを紹介することができる。 ・2つのものを比較し、自分の意見を理由とともに述べる ことができる。 ・相手の意見を聞いて応答することができる。	Session 1 Session 2	【紹介する・自分の意見を述べる】 ・良い方・好きな方を選び、理由をのべる 【紹介する・意見を述べる】 ・身近な話題について、話す	知 思 態			○ ○ ○				授業内活動の観察 提出物等 パフォーマンス
	中間考査										
6 7	・自分のことについて、わかりやすく自己紹介することができる。 ・聞き手に伝わるように内容を工夫して話すことができる。	Session 3 Session 4	【分析する・説明する】 ・相手に伝わる自己紹介 【理解する・紹介する】 ・日本の高校生活について考え、紹介することができる。	知 思 態			○ ○ ○				授業内活動の観察 提出物等 パフォーマンステスト
	期末考査・答案指導										

第2学期学習指導計画													
月	育成する資質能力 (CAN-DO 記述)	学習項目	学習内容や学習活動 (言語活動・ICT等)	評価 の 観 点	領域					評価 項 目 数	主な評価規準 (評価の材料・方法等)	予 定 時 数	実 施 時 数
					聞	読	取	発	書				
9 10	知識・技能 ・観光地や旅行に関する語彙・表現を理解し、場面に 応じて使うことができる。 ・提案や質問、応答に必要な表現を用いて会話することができる。 思考力・判断力・表現力 ・相手の立場や興味を考えながら、適切な情報を選んで説明することができる。	Session 5 Session 6	【即興性のあるやりとり】 ・外国から来た人に、観光地について説明する 【話し合う】 ・旅行計画を立て、提案する	知 思 態			○ ○ ○				授業内活動の観察 提出物等 パフォーマンステスト	12	

令和8年度 外国語科「論理・表現Ⅲ」シラバス

単位数	4単位	学科・学年・学級	普通科 第3学年 A組、B組(文)
教科書	NEW FAVORITE English Logic and Expression III(東京書籍)	副教材等	

1 学習の到達目標

支援をほとんど活用しなくても複数の資料を活用しながら、目的や場面、状況などに応じて多様な語句や文を適切に用いて、

1. 文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを整理して伝え、相手を説得することができる。
2. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、相手を説得することができるよう、話して伝えることができる。
3. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、相手を説得することができるよう、書いて伝えることができる

2 学習の計画

第1学期学習指導計画											
月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法等)
					聞	読	取	発	書		
4	*Speaking-Interaction 場面や状況を理解し、ある話題について、適切な表現を用いて、議論したり、提案したりして、自分の考えや気持ちなどを、詳しく伝え合うことができる。 *Writing 場面や状況を理解し、ある話題について、適切な表現を用いて、議論したり、提案したりできる。	Lesson 1	議論する、提案する	知	○	○	○	○	○	6	・授業内活動の観察
		Lesson 2	個人的なことについて書く、気持ちを伝える	知	○	○	○	○	○	3	・授業内活動の観察 ・パフォーマンステスト
	*Writing 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、個人的なことについて書いたりして、気持ちを伝えたりして、自分の近況について相手に共感してもらおうことができるよう、詳しく書いて伝えることができる。	Lesson 3	助言する、行動を促す	知	○	○	○	○	○	3	・授業内活動の観察 ・パフォーマンステスト
5		学校新聞でアドバイスする		知	○	○	○	○	○	0	
				知	○	○	○	○	○	0	
中間 考査	中間考査(※ Unit毎に授業内でパフォーマンステストを行うため、実施しない。)			知	○	○	○	○	○	0	
6	*Speaking-Presentation 相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、主張したり、仮定したりして、自分の考えや仮定・推測などを伝えることができる。 *Writing 相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、主張したり、仮定したりして、自分の考えや仮定・推測などを詳しく伝えることができる。	Lesson 4	主張する、仮定する	知	○	○	○	○	○	6	・授業内活動の観察
			宇宙についてスピーチする	知	○	○	○	○	○	3	
7	*Writing 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、基本情報を伝えたり、詳細を伝えたりして、相手に伝えるべきことを誤解されないように、詳しく書いて伝えることができる。	Lesson 5	基本情報を伝える、詳細を伝える	知	○	○	○	○	○	3	・授業内活動の観察 ・パフォーマンステスト ・提出物
				知	○	○	○	○	○	0	
期 末 考 査	期末考査(※ Unit毎に授業内でパフォーマンステストを行うため、実施しない。)			知	○	○	○	○	○	0	

第2学期学習指導計画											
月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法等)
					聞	読	取	発	書		
9	*Writing 相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、見た目を描写したり、イメージを伝えたりして、理想の場所や時間について、理想の場所や時間についての詳細やそれに対する自分の気持ちを、相手に理解	Lesson 6	見た目を描写する、イメージを伝える	知	○	○	○	○	○	3	・授業内活動の観察
				知	○	○	○	○	○	0	
10	*Speaking-Presentation 相手の知識や状況を理解し、相手にぜひ知ってほしい、理解してほしいことについて詳しく話して伝えることができる。 *Writing 相手の知識や状況を理解し、相手にぜひ知ってほしい、理解してほしいことについて詳しく書いて伝えることができる。	Lesson 7	特長を説明する、説得する	知	○	○	○	○	○	6	・授業内活動の観察 ・パフォーマンステスト ・提出物
				知	○	○	○	○	○	0	

中間 考査	中間考査（※ Unit毎に授業内でパフォーマンステストを行うため、実施しない。）			知 思 態	0	
11	*Writing 相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、できごとについて物語ったり、読み手をひきつけたりして、自分の趣味について相手に理解してもらうことができるよう、詳しく書いて伝えることができる。	Lesson 8 趣味について書く	できごとについて物語る、読み手をひきつける	知 思 態	3	・授業内活動の観察 ・パフォーマンステスト
				知 思 態	0	
12	*Writing 相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、分析したり、評論したりして、物事に対する自分なりの分析や評論について相手に同意してもらうことができるよう、詳しく書いて伝えることができる。	Lesson 9 物語を分析して評論する	分析する、評論する	知 思 態	3	・授業内活動の観察 ・提出物
				知 思 態	0	
期 末 考査	期末考査（※ Unit毎に授業内でパフォーマンステストを行うため、実施しない。）			知 思 態	0	

第3学期学習指導計画										
月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域				評価項目数	主な評価規準 (評価方法等)
					聞	読	取	発書		
1	*Speaking-Interaction 相手側の主張や反駁を理解し、ある話題について、適切な表現を用いて、立論したり、反駁したり、意見をまとめて再主張したりして、ディベートにおいて建設的な議論ができる。 *Writing	Unit 1 Lesson 10 学習環境についてディベートする	立論する、反駁する、意見をまとめて再主張する	知 思 態	0	0	0	6	・授業内活動の観察 ・パフォーマンステスト	
				知 思 態	0	0	0	0		
2				知 思 態	0	0	0	0		
				知 思 態	0	0	0	0		
3				知 思 態	0	0	0	0		
				知 思 態	0	0	0	0		
期 末 考査	期末考査（※ Unit毎に授業内でパフォーマンステストを行うため、実施しない。）			知 思 態	0	0	0	0		

評価の観点	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
知識・技能			・討論や交渉に必要な語彙や表現(主張の展開、反論、譲歩、整理など)を理解し、適切に用いている。 ・相手の発言に応じて、柔軟に回答しながらやり取りを継続する技能を身に付けている。	・高度な内容を伝えるための語彙や表現、論理的構成を理解している。 ・聞き手に応じて明瞭かつ効果的に伝える発話技能を身に付けている。	・論理的で一貫性のある文章を書くための語彙や文構造、パラグラフ構成を理解している。 ・複雑な内容についても正確に表現する技能を身に付けている。
思考・判断・表現			・自分の立場や考えを明確にし、相手の意見を踏まえて論理的にやり取りしている。 ・根拠の妥当性を示しながら意見を述べたり、相手の主張に対して適切に回答したりしている。	・主張や目的を明確にし、根拠や具体例を用いて論理的に構成した発表をしている。 ・聞き手や目的に応じて内容や表現を工夫し、説得力のある発表をしている。	・自分の主張を明確にし、複数の根拠や具体例を用いて一貫性のある文章を書いている。 ・異なる視点や反論を踏まえながら、より説得力のある文章を構成している。
主体的に学習に取り組む態度			・異なる意見を尊重しながら、建設的に対話を進めようとしている。 ・対話を通して考えを深め、よりよい結論を導こうとしている。	・自分の考えを積極的に伝えようとしている。 ・発表の改善に向けて振り返りを行い、よりよい表現を目指している。	・目的や読み手を意識しながら、主体的に書く活動に取り組んでいる。 ・推敲や修正を重ね、より適切で説得力のある文章にしようとしている。

評価の方法	知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。
-------	---

担当者からのメッセージ (確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)	論理・表現Ⅲは、ペアワーク・グループアクティビティを通して、プレゼンテーションや課題提出が求められます。積極的に他の生徒たちと協働し、英語力を伸ばしていきましょう。
--	--

令和8年度 家庭科「家庭科研究」シラバス

教科	家庭科	科目	家庭科研究	単位数	2単位
学級	3年次 A、D～I スポーツ科学科	教材・副教材	未来へつなぐ 家庭基礎 365 (教育図書) 生活ハンドブック (第一学習社)		

1 科目の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを旨とする。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	B編 第2章 衣生活と健康	衣服の役割って何だろう	<p>【知・技】・被服の機能について理解している。 ・衣服が健康に与える影響について理解している。</p> <p>【思・判・表】・衣生活に関する学習を通して、自身の着装について考え、まとめたり、発表したりすることができる。</p> <p>・被服の社会的機能について、新聞、書籍、インターネットなどを通して資料を収集したり、調査したりしてまとめることができる。</p> <p>【主】・自身の衣生活の分析を通して、衣服に関心を持ち、現代の衣生活に関心を持つようとしている。</p> <p>・衣服で個性を表現しようとしている。</p> <p>・衣服の機能や安全性、環境への配慮などの知識を生かして、自分の衣生活を改善しようとしている。</p>	ワークシート グループワーク
	5		衣服はどうやってつくられている？	<p>【知・技】・三原組織や編物の構造を理解している。 ・平面構成と立体構成の特徴を理解している。 ・被服の入手、洗濯、保管などの被服管理について理解し、管理できる技術を習得している。</p> <p>【思・判・表】・衣服の原料から廃棄（再利用）までの流れを調べ、まとめることができる。</p> <p>【主】・社会的慣習に適応しながらも自己実現する着装の工夫をし、着用目的に応じて健康的な衣服選択と着装をしようとしている。</p> <p>・被服材料に応じた被服の整理や管理について考えようとしている。</p>	ワークシート グループワーク 実習
	6	B編 第1章 食生活と健康	安全に食べよう	<p>【知・技】・食中毒や食物アレルギーについて理解し、健康・安全を考えた調理をすることができる。</p> <p>【思・判・表】・食品の表示を理解し、購入時の判断材料とすることができる。</p> <p>・調理の安全や衛生について具体的に考えている。</p> <p>【主】・食の安全・衛生について関心を持ち、現代の食生活における課題について目を向けている。</p>	ワークシート 実習 グループワーク
	7		健康に食べよう	<p>【知・技】・食中毒や食物アレルギーについて理解し、健康・安全を考えた調理をすることができる。</p> <p>【思・判・表】・食品の表示を理解し、購入時の判断材料とすることができる。</p> <p>【主】・食の安全・衛生について関心を持ち、現代の食生活における課題について目を向けている。</p>	ワークシート 実習 定期考査

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	B編第2章 衣生活と健康	衣服はどうやってつくられている？ 衣服の計画と管理	<p>【知・技】・布の縫い方など、基礎的な技術を身に付けている。</p> <p>・資源の有効利用の観点から、購入、活用、手入れ、再利用、廃棄まで考えた被服計画の必要性について理解している。</p> <p>・資源の有効利用まで考えた衣服の購入、再利用、廃棄までの衣服計画をたてることができる。</p> <p>【思・判・表】・自分の衣生活について、人と比較して意見を言うことができる。</p> <p>【主】・被服材料に応じた被服の整理や管理について考えようとしている。</p> <p>・私たちの衣生活に関する文化や背景について理解し、自身が将来の担い手であるという意識を持っている。</p>	ワークシート グループワーク 実習 宿題
	10	A編第3章 子どもの生活と保育	子どもはどう生まれ育つ？ 子どもとどうかかわろう？	<p>【知・技】・子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義を理解している。</p> <p>・子どもの生活の概要を理解している。</p> <p>・少子化、育児不安、児童虐待、子どもの貧困など、現代の子どもを取り巻く環境の変化と課題について考え、新聞・書籍・インターネットを活用したり、地域の関連機関へ調査に出向いたりして、資料を収集して調査することができる。</p> <p>【思・判・表】・子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義を捉え、子どもにとってよい環境について考え、意見をまとめたり、発表したりすることができる。</p> <p>【主】・自分が将来、保育に関わる存在であることを理解し、自分ごととして学習に取り組んでいる。</p>	ワークシート グループワーク 実習
	11	B編第1章 食生活と健康	私たちは何を食べているの？	<p>【知・技】・栄養素の特徴と、それを多く含む食品について理解している。</p> <p>・料理の作り方を理解し、基礎的な技術を身に付け、効率よく調理することができる。</p> <p>【思・判・表】・食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすを活用し、自身や家族の献立を考え、作成することができる。</p> <p>【主】・栄養素や食品の知識を生かして、自分や家族の食生活を改善しようとしている。</p>	ワークシート グループワーク 実習
	12		これからも食事をたのしむために	<p>【知・技】・料理の作り方を理解し、基礎的な技術を身に付け、効率よく調理することができる。</p> <p>【思・判・表】・自給率の低下や外食・中食への依存など現在の食生活の問題について深く考えている。</p> <p>【主】・食生活の多様化や食環境の変化について知り、食生活と環境について科学的に考えようとしている。</p>	ワークシート 実習 定期考査

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	B編第3章 住生活と住環境	どのような家に住みたい？	<p>【知・技】・住居の平面図を読みとることができる。</p> <p>【思・判・表】・動線を考えて平面図を作成し、まとめたり発表したりすることができる。</p> <p>【主】・将来の住まい方について考えようとしている。</p>	<p>ワークシート</p> <p>グループワーク</p>
	2		<p>安全に住もう</p> <p>快適に住もう</p>	<p>【知・技】・安全で快適な住生活を送るための知識を身に付け、環境にも配慮した住生活について理解している。</p> <p>【思・判・表】・防犯、防火、耐震などの安全性が高く、日照、採光、換気、遮音などに配慮して健康的に住むことができる住居について考えることができる。</p> <p>【主】・住居の安全性や防災の知識を生かして、家庭生活において具体的な行動に移すことができる。</p>	<p>ワークシート</p> <p>グループワーク</p> <p>定期考査</p>

令和8年度 「IT活用」 シラバス

教科	情報	科目	IT活用	単位数	2
学級	3年次 一般理系 3年次 一般文系	教材・副教材	情報 I step Forward! (東京書籍) 日本語ワープロ検定試験3・4級模擬問題集 情報処理技能検定試験表計算 模擬問題集 3・4級編 (日本情報処理検定協会)		

1 科目の目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成することを目指す。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4		・情報活用の基礎 (日本語ワープロの使い方の習得)	【知・技】フォントやデザインの違いや有用性を理解している。 【思・判・表】各デザインやフォント・図形等にはどのような特徴があるのか、また、それらをどのように活用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】目的に応じたフォントやデザイン等の利活用の方法について、主体的に追究しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・授業内発表 ・課題
	5				
	6				
	7				
第2学期	9		・データ処理の基礎 (表計算ソフトの使い方の習得)	【知・技】グラフやデザインの違いや有用性を理解している。 【思・判・表】各グラフやフォント・図形等にはどのような特徴があるのか、また、それらをどのように活用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】目的に応じたグラフやデザイン等の利活用の方法について、主体的に追究しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・授業内発表 ・課題
	10				
	11				
	12				
第3学期	1		・文書デザインの基礎	【知・技】アニメーションやデザインの違いや有用性を理解している。 【思・判・表】アニメーションやフォント・図形等にはどのような特徴があるのか、また、それらをどのように活用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】目的に応じたアニメーションやデザイン等の利活用の方法について、主体的に追究しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・授業内発表 ・課題